

令和7年度認知症に関する意識等調査
報告書

静岡市保健福祉長寿局
地域支え合い推進部 地域包括ケア推進課
令和8年3月

目次

I 調査概要	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果	4
1 認知症に関する関心度	4
2 認知症の人や認知症と思われる人と接したことがあるか	5
3 認知症に関する認知度	7
4 認知症について知っていること	8
5 認知症について知りたい学びたいと思うか	10
6 認知症について知りたいこと	11
7 認知症に関する相談先の認知度	14
8 認知症の人の生活のイメージ	17
9 自分が認知症かもしれないと思ったらどうするか	19
10 自分が認知症になったら誰に伝えるか	22
11 自分や家族が認知症になった場合の心配や不安なこと	24
12 今後充実してほしい認知症施策	33
13 認知症の人が周りの人と支え合いながら地域で安心して暮らすことができていると思うか	36
14 認知症の人は本人の意思が尊重され本人の望む生活を送ることができていると思うか	37
IV 調査票	39

I 調査概要

1 調査の目的

本市の認知症施策推進計画策定の際の資料として活用するため、広く市民の認知症についての理解・印象等を把握する。

2 調査地域と抽出方法

静岡市全域

対象者を年代ごと性別ごとに、住民基本台帳から無作為に抽出

3 調査の対象者と有効回答数

15歳から74歳までの男女 3,000人

有効回答数 1,191票 有効回答率 39.7%

4 調査方法

郵送配布、郵送回答

5 調査期間

令和7年10月24日～11月28日

6 調査内容

- (1) 認知症に関する関心度
- (2) 認知症の人や認知症と思われる人と接したことがあるか
- (3) 認知症に関する認知度
- (4) 認知症について知っていること
- (5) 認知症について知りたい学びたいと思うか
- (6) 認知症について知りたいこと
- (7) 認知症に関する相談先の認知度
- (8) 認知症の人の生活のイメージ
- (9) 自分が認知症かもしれないと思ったらどうするか
- (10) 自分が認知症になったら誰に伝えるか
- (11) 自分や家族が認知症になった場合の心配や不安なこと
- (12) 今後充実してほしい認知症施策
- (13) 認知症の人が周りの人と支え合いながら地域で安心して暮らすことができていると思うか
- (14) 認知症の人は本人の意思が尊重され本人の望む生活を送ることができていると思うか

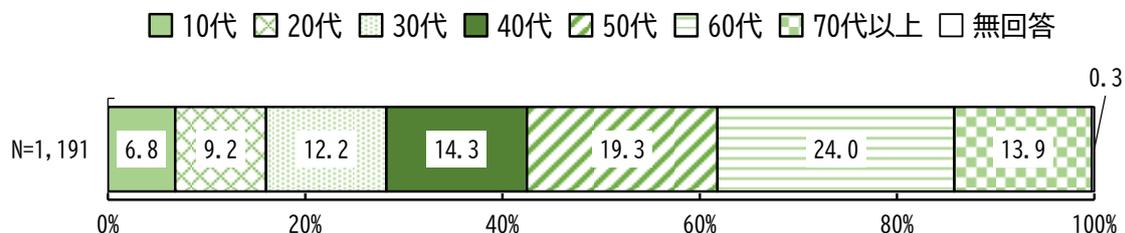
7 結果の表示方法

- ・比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分比の合計が100%にならないことがあります。
- ・基数となるべき調査数は、Nと表示しており、回答比率はこれを100%として算出しています。

II 回答者の属性

年代

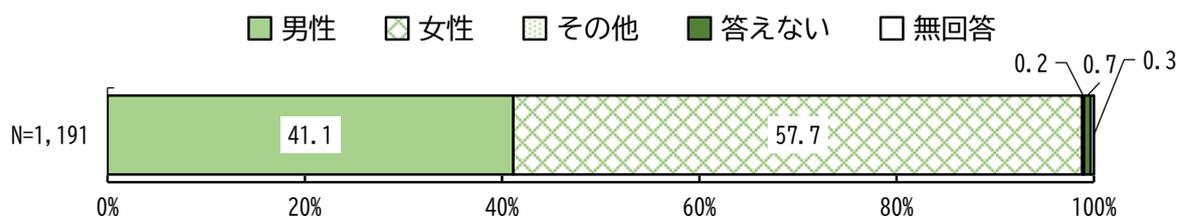
F1 あなたの年代を教えてください。(○は1つ)



年代では、「60代」24.0%が最も多く、以下「50代」19.3%、「40代」14.3%となっています。

性別

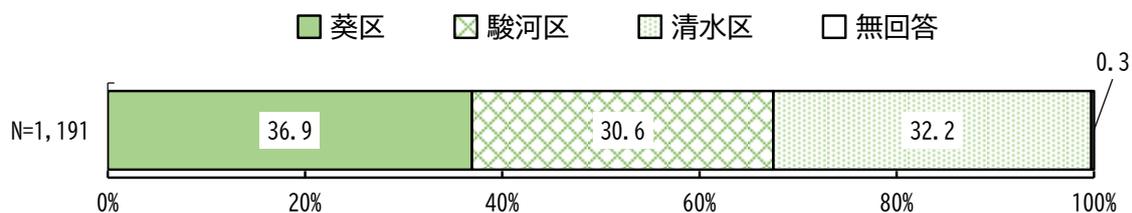
F2 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)



性別では、「男性」41.1%、「女性」57.7%となっています。

行政区

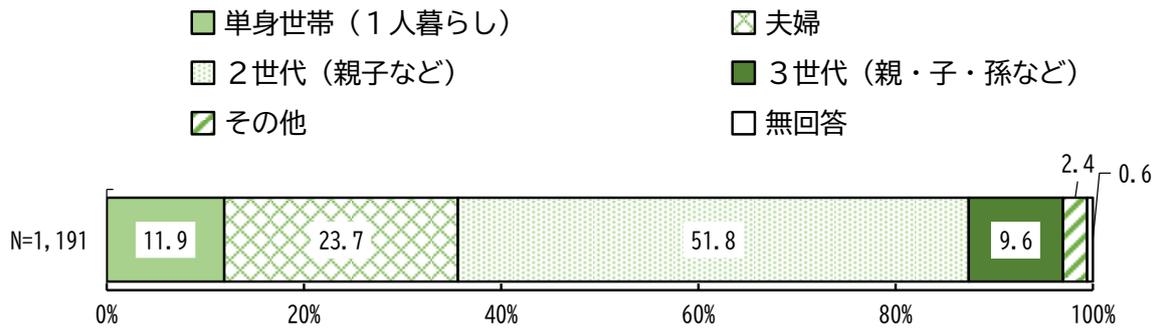
F3 あなたのお住まいの地域を教えてください。(○は1つ)



行政区では、「葵区」36.9%、「駿河区」30.6%、「清水区」32.2%となっています。

世帯構成

F4 あなたの世帯構成を教えてください。(〇は1つ)



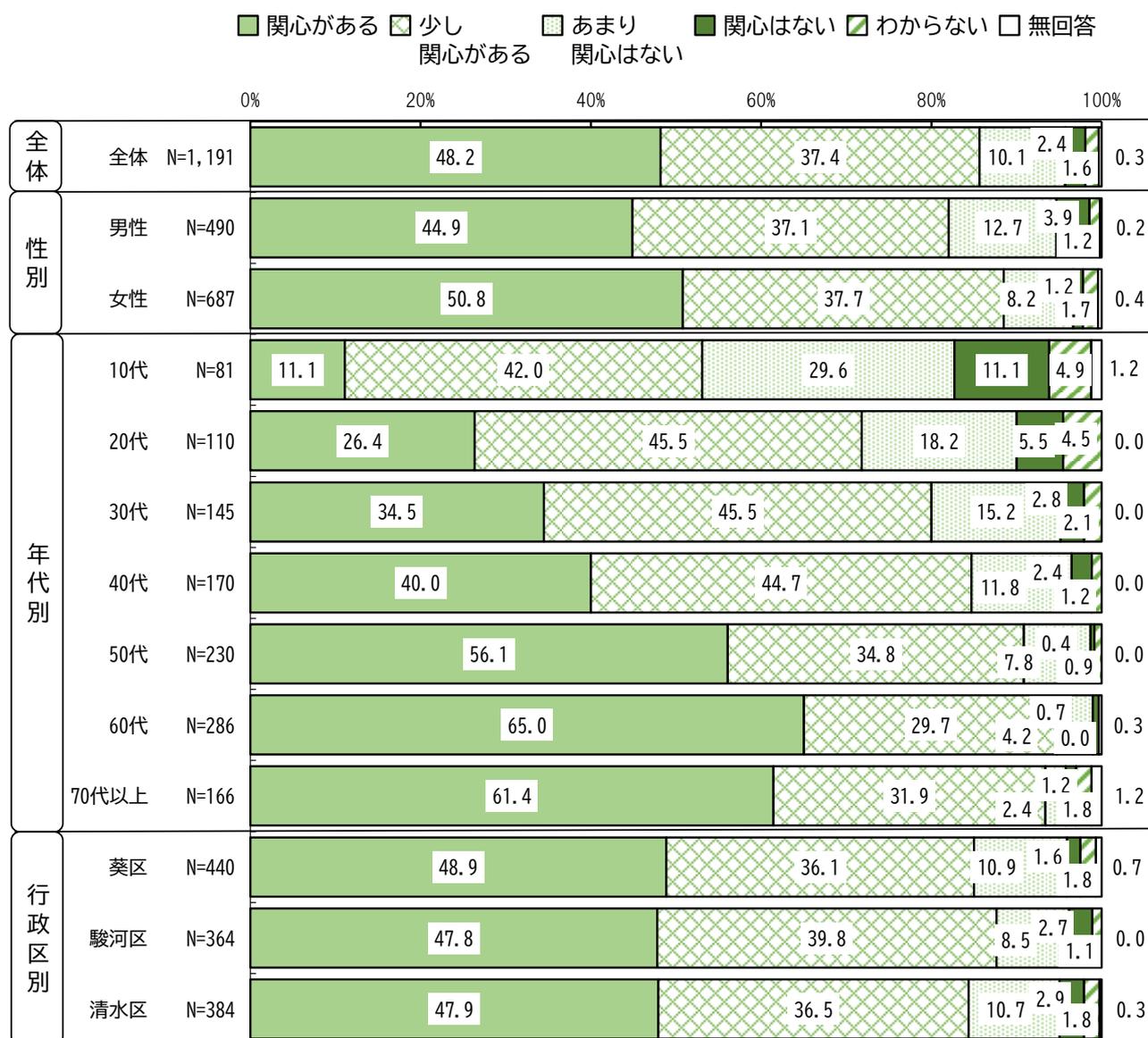
世帯構成では、「2世代 (親子など)」51.8%が最も多く、以下「夫婦」23.7%、「単身世帯 (1人暮らし)」11.9%となっています。

III 調査結果

1 認知症に関する関心度

問1 あなたは、認知症に関して、どの程度関心を持っていますか。
(〇は1つ)

認知症に関する関心度については、「関心がある」48.2%と最も多く、次いで「少し関心がある」37.4%、「あまり関心はない」10.1%となっています。また、『関心がある』（「関心がある」+「少し関心がある」）は85.6%、『関心はない』（「あまり関心はない」+「関心はない」）は12.5%となっています。「わからない」1.6%となっています。



性別でみると、『関心がある』（「関心がある」+「少し関心がある」）は男性82.0%、女性88.5%となっています。『関心はない』（「あまり関心はない」+「関心はない」）は男性16.6%、女性9.4%となっています。

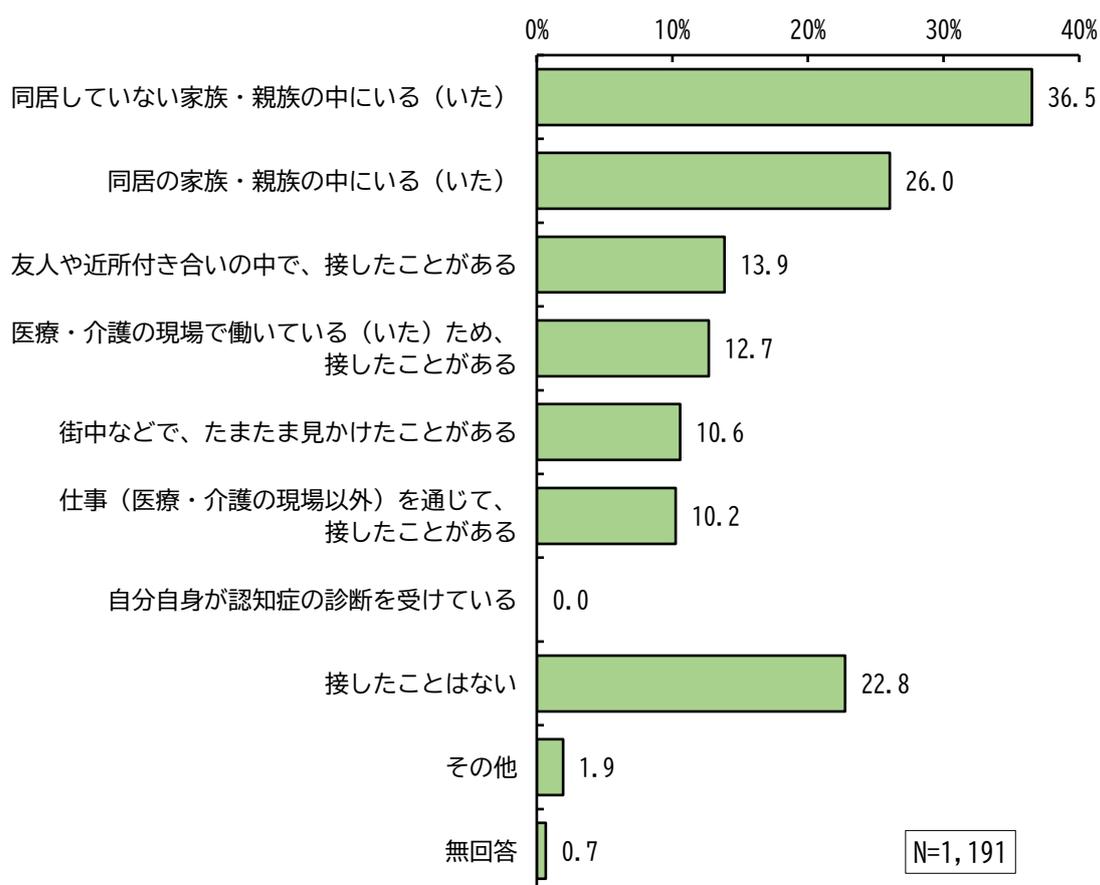
年代別でみると、『関心がある』は60代94.7%、70代以上93.3%、50代90.9%の順になっています。『関心はない』は10代40.7%、20代23.7%、30代18.0%の順になっています。

行政区別でみると、『関心がある』は駿河区87.6%、葵区85.0%、清水区84.4%の順になっています。『関心はない』は清水区13.6%、葵区12.5%、駿河区11.2%の順になっています。

2 認知症の人や認知症と思われる人と接したことがあるか

問2 あなたは、今までに認知症の人や認知症と思われる人と接したことがありますか。
(〇はいくつでも)

認知症の人や認知症と思われる人と接したことがあるかについては、「同居していない家族・親族の中にいる (いた)」36.5%と最も多く、次いで「同居の家族・親族の中にいる (いた)」26.0%、「友人や近所付き合いの中で、接したことがある」13.9%、「医療・介護の現場で働いている (いた) ため、接したことがある」12.7%、「街中などで、たまたま見かけたことがある」10.6%などとなっています。「接したことはない」22.8%となっています。



令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

単位：(%)

		調査数(人)	同居していない家族・親族の中にいる(いた)	同居の家族・親族の中にいる(いた)	友人や近所付き合いの中で、接したことがある	医療・介護の現場で働いている(いた)ため、接したことがある	街中などで、たまたま見かけたことがある	仕事(医療・介護の現場以外)を通じて、接したことがある	自分自身が認知症の診断を受けている	接したことはない	その他	無回答
全体		1,191	36.5	26.0	13.9	12.7	10.6	10.2	0.0	22.8	1.9	0.7
性別	男性	490	35.5	28.4	10.8	6.7	11.2	9.6	0.0	25.7	1.0	0.4
	女性	687	37.3	24.5	16.0	17.0	9.8	10.8	0.0	20.8	2.6	0.7
年代別	10代	81	28.4	13.6	3.7	0.0	8.6	0.0	0.0	48.1	4.9	1.2
	20代	110	28.2	15.5	9.1	10.9	12.7	7.3	0.0	30.9	3.6	0.0
	30代	145	42.1	19.3	6.9	16.6	9.0	16.6	0.0	19.3	2.8	0.0
	40代	170	36.5	20.6	5.9	14.7	10.0	11.8	0.0	25.9	1.8	1.8
	50代	230	38.7	26.5	10.9	15.2	10.4	12.6	0.0	23.0	2.2	0.0
	60代	286	39.5	33.9	19.6	12.9	11.2	9.1	0.0	15.7	0.7	0.3
	70代以上	166	33.1	36.1	30.1	10.2	10.2	9.0	0.0	16.9	0.6	1.2
行政区別	葵区	440	34.3	26.6	13.2	14.5	10.7	10.9	0.0	21.8	2.0	1.1
	駿河区	364	35.4	28.6	13.2	11.3	8.8	11.0	0.0	23.1	1.4	0.0
	清水区	384	40.1	22.9	15.1	11.7	11.7	8.9	0.0	23.7	2.3	0.5

性別で見ると、「同居していない家族・親族の中にいる(いた)」は男性35.5%、女性37.3%となっています。「同居の家族・親族の中にいる(いた)」は男性28.4%、女性24.5%となっています。「接したことはない」は男性25.7%、女性20.8%となっています。

年代別で見ると、「同居していない家族・親族の中にいる(いた)」は30代42.1%、60代39.5%、50代38.7%の順になっています。「同居の家族・親族の中にいる(いた)」は70代以上36.1%、60代33.9%、50代26.5%の順になっています。「接したことはない」は10代48.1%、20代30.9%、40代25.9%の順になっています。

行政区別で見ると、「同居していない家族・親族の中にいる(いた)」は清水区40.1%、駿河区35.4%、葵区34.3%の順になっています。「同居の家族・親族の中にいる(いた)」は駿河区28.6%、葵区26.6%、清水区22.9%の順になっています。「接したことはない」は清水区23.7%、駿河区23.1%、葵区21.8%の順になっています。

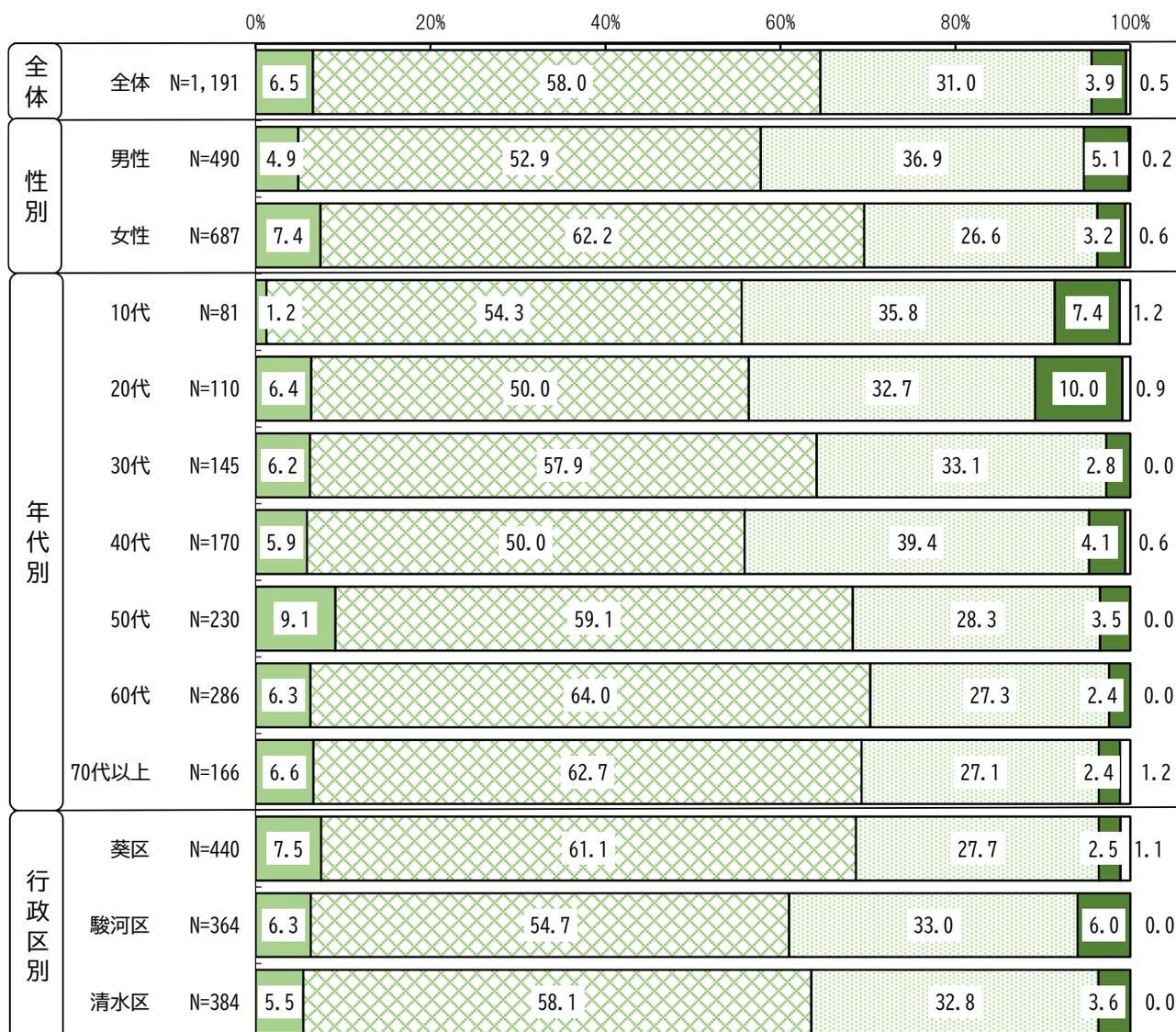
3 認知症に関する認知度

問3 あなたは、認知症に関して、どの程度知っていますか。
(〇は1つ)

認知症に関する認知度については、「ある程度知っている」58.0%と最も多く、次いで「言葉は知っているがあまり知らない」31.0%、「よく知っている」6.5%となっています。

また、『知っている』（「よく知っている」+「ある程度知っている」）は64.5%となっています。『知らない』（「言葉は知っているがあまり知らない」+「ほとんど知らない」）は34.9%となっています。

よく知っている
 ある程度知っている
 言葉は知っているがあまり知らない
 ほとんど知らない
 無回答



性別でみると、『知っている』（「よく知っている」+「ある程度知っている」）は男性57.8%、女性69.6%となっています。『知らない』（「言葉は知っているがあまり知らない」+「ほとんど知らない」）は男性42.0%、女性29.8%となっています。

年代別でみると、『知っている』は60代70.3%、70代以上69.3%、50代68.2%の順になっています。『知らない』は40代43.5%、10代43.2%、20代42.7%の順になっています。

行政区別でみると、『知っている』は葵区68.6%、清水区63.6%、駿河区61.0%の順になっています。『知らない』は駿河区39.0%、清水区36.4%、葵区30.2%の順になっています。

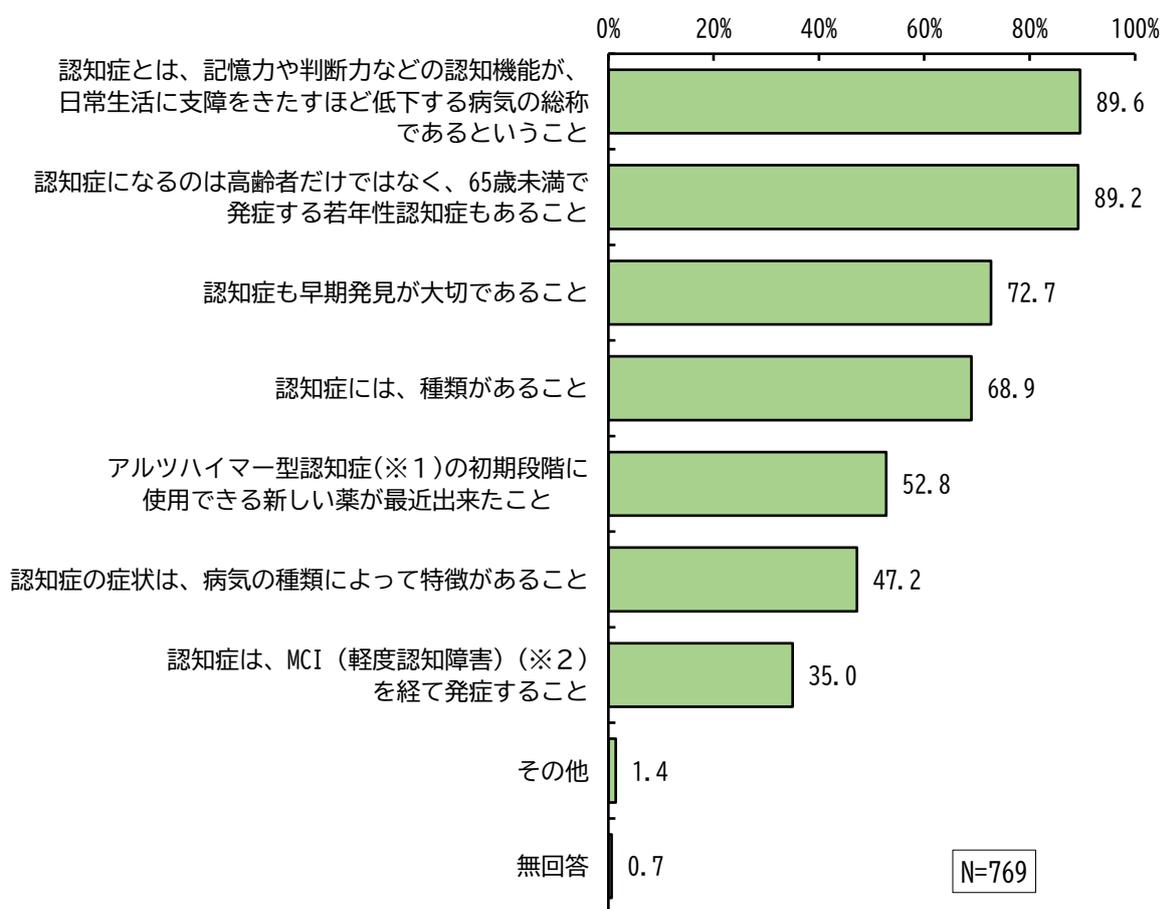
4 認知症について知っていること

*上記【問3】で「1 よく知っている」「2 ある程度知っている」と回答された方にお尋ねします。

問4 あなたは、認知症についてどのようなことを知っていますか。

(〇はいくつでも)

認知症について知っていることについては、「認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ」89.6%と最も多く、次いで「認知症になるのは高齢者だけではなく、65歳未満で発症する若年性認知症もあること」89.2%、「認知症も早期発見が大切であること」72.7%、「認知症には、種類があること」68.9%、「アルツハイマー型認知症の初期段階に使用できる新しい薬が最近出来たこと」52.8%などとなっています。



※1 アルツハイマー型認知症

もの忘れから始まり、徐々に判断力・理解力が低下する、認知症の一種。認知症の中で最も多く見られる。

※2 MCI(軽度認知障害)

日常生活に支障がない程度に、記憶力や判断力が低下した状態。生活習慣の見直しなどにより、正常な状態へ回復する可能性がある。

Ⅲ 調査結果

単位：(%)

		調査数(人)	気が、認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ	認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ	認知症になるのは高齢者だけでなく、65歳未満で発症する若年性認知症もあること	認知症も早期発見が大切であること	認知症には、種類があること	アルツハイマー型認知症(※1)の初期段階に使用できる新しい薬が最近出来たこと	認知症の症状は、病気の種類によって特徴があること	認知症は、MCI(軽度認知障害)(※2)を経て発症すること	その他	無回答
全体		769	89.6	89.2	72.7	68.9	52.8	47.2	35.0	1.4	0.7	
性別	男性	283	89.8	82.0	64.0	59.4	47.3	35.0	27.9	1.4	0.7	
	女性	478	89.3	93.5	78.2	74.5	55.6	54.4	38.9	1.5	0.6	
年代別	10代	45	93.3	66.7	46.7	46.7	24.4	26.7	13.3	0.0	0.0	
	20代	62	90.3	80.6	58.1	67.7	33.9	46.8	25.8	0.0	0.0	
	30代	93	90.3	97.8	71.0	62.4	41.9	41.9	34.4	2.2	0.0	
	40代	95	85.3	90.5	72.6	69.5	52.6	50.5	27.4	0.0	1.1	
	50代	157	86.0	89.8	78.3	70.7	56.1	52.2	44.6	1.3	2.5	
	60代	201	94.5	92.0	75.1	72.1	60.7	47.8	41.3	2.0	0.0	
	70代以上	115	87.0	88.7	80.0	74.8	64.3	48.7	30.4	2.6	0.0	
行政区別	葵区	302	89.1	87.4	69.9	69.9	50.3	45.0	32.8	2.3	0.3	
	駿河区	222	89.6	93.2	75.7	69.4	55.0	50.5	39.2	0.9	0.9	
	清水区	244	90.2	87.7	73.4	67.2	53.7	46.7	33.6	0.8	0.8	

性別でみると、「認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ」は男性89.8%、女性89.3%となっています。「認知症になるのは高齢者だけではなく、65歳未満で発症する若年性認知症もあること」は男性82.0%、女性93.5%となっています。

年代別でみると、「認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ」は60代94.5%、10代93.3%、20代、30代90.3%の順になっています。「認知症になるのは高齢者だけではなく、65歳未満で発症する若年性認知症もあること」は30代97.8%、60代92.0%、40代90.5%の順になっています。

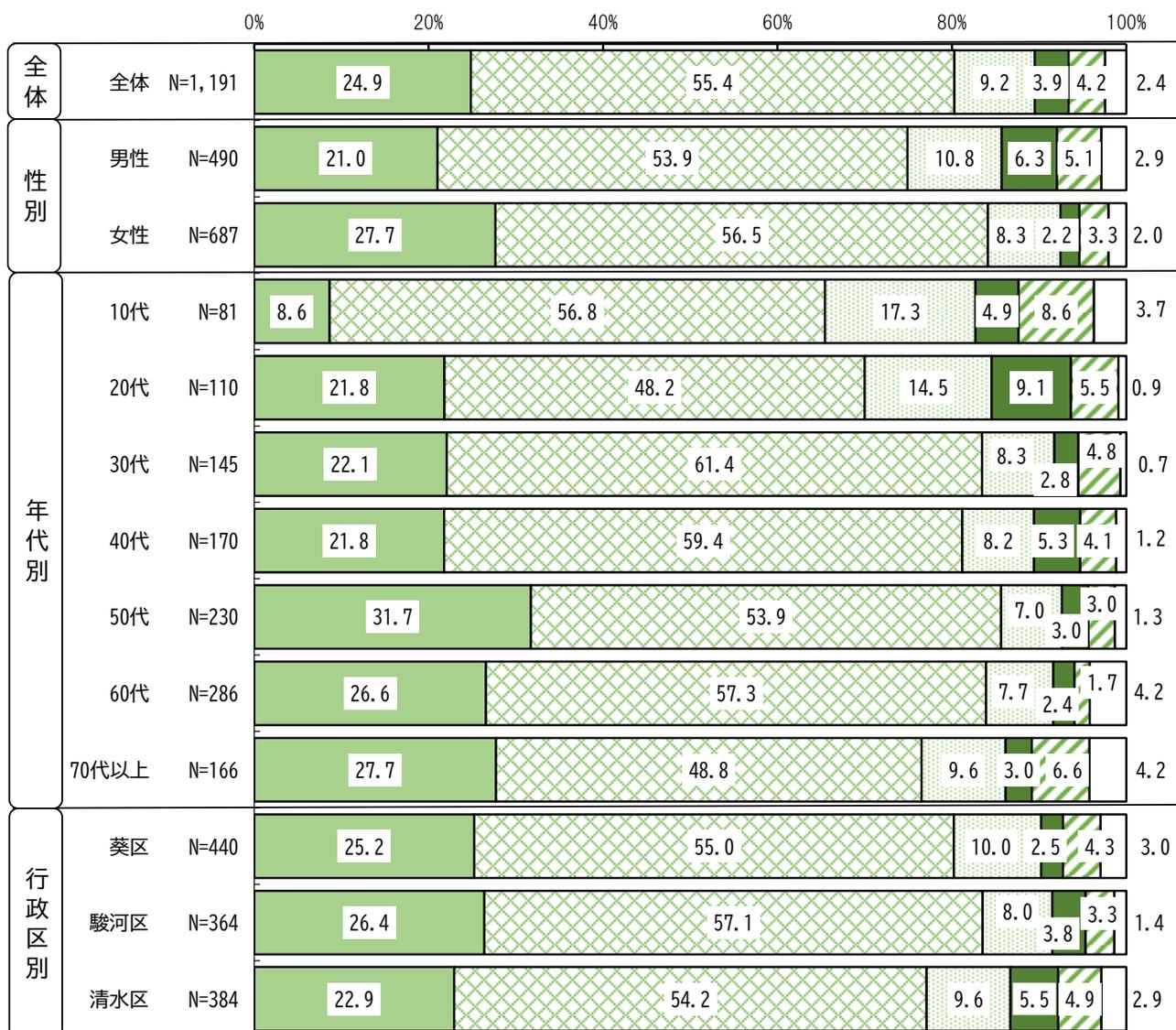
行政区別でみると、「認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ」は清水区90.2%、駿河区89.6%、葵区89.1%の順になっています。

5 認知症について知りたい学びたいと思うか

問5 あなたは、認知症について知りたい、学びたいと思いますか。
(〇は1つ)

認知症について知りたい学びたいと思うかについては、「どちらかといえばそう思う」55.4%と最も多く、次いで「思う」24.9%、「どちらかといえばそう思わない」9.2%となっています。また、『そう思う』（「思う」+「どちらかといえばそう思う」）は80.3%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）は13.1%となっています。「わからない」4.2%となっています。

■ 思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない □ 無回答



性別で見ると、『そう思う』（「思う」+「どちらかといえばそう思う」）は男性74.9%、女性84.2%となっています。『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）は男性17.1%、女性10.5%となっています。

年代別で見ると、『そう思う』は50代85.6%、60代83.9%、30代83.5%の順になっています。『そう思わない』は20代23.6%、10代22.2%、40代13.5%の順になっています。

行政区別で見ると、『そう思う』は駿河区83.5%、葵区80.2%、清水区77.1%の順になっています。『そう思わない』は清水区15.1%、葵区12.5%、駿河区11.8%の順になっています。

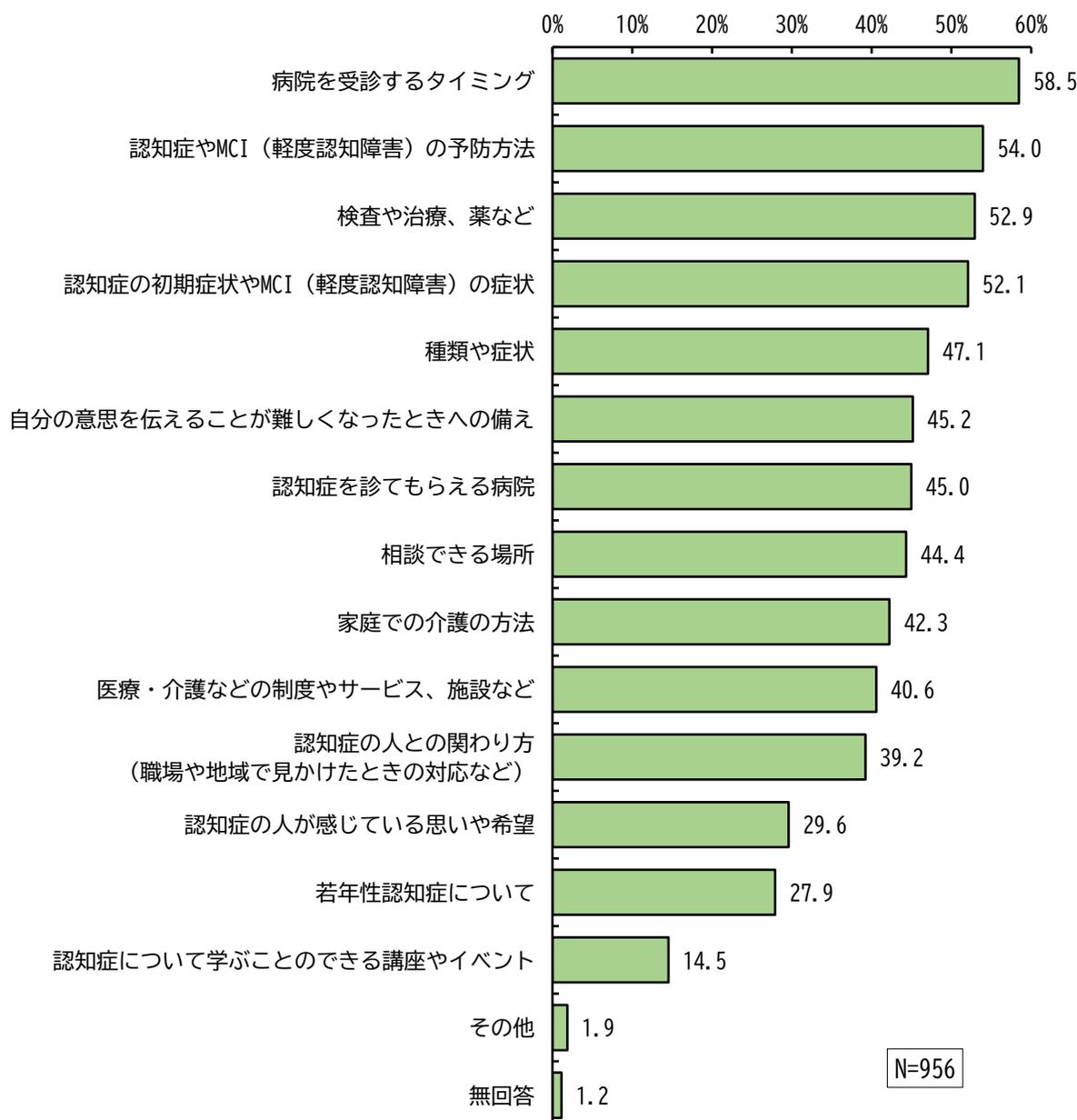
6 認知症について知りたいこと

*上記【問5】で、「1 思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方にお尋ねします。

問6 あなたは、認知症についてどのようなことを知りたいと思いますか。

(〇はいくつでも)

認知症について知りたいことについては、「病院を受診するタイミング」58.5%と最も多く、次いで「認知症やMCI（軽度認知障害）の予防方法」54.0%、「検査や治療、薬など」52.9%、「認知症の初期症状やMCI（軽度認知障害）の症状」52.1%、「種類や症状」47.1%などとなっています。



単位：（％）

		調査数（人）	病院を受診するタイミング	認知症やMCI（軽度認知障害）の予防方法	検査や治療、薬など	認知症の初期症状やMCI（軽度認知障害）の症状	種類や症状	自分の意思を伝えることが難しくなったときへの備え	認知症を診てもらえる病院	相談できる場所
全体		956	58.5	54.0	52.9	52.1	47.1	45.2	45.0	44.4
性別	男性	367	55.0	53.7	57.2	55.3	53.7	39.0	44.4	46.6
	女性	578	60.7	54.0	50.3	49.8	42.6	49.1	45.2	43.3
年代別	10代	53	37.7	32.1	41.5	32.1	50.9	24.5	24.5	18.9
	20代	77	57.1	49.4	57.1	46.8	53.2	37.7	28.6	37.7
	30代	121	63.6	54.5	61.2	52.1	53.7	41.3	43.8	41.3
	40代	138	69.6	50.7	54.3	52.2	47.8	50.7	50.7	51.4
	50代	197	54.8	54.8	49.7	50.3	41.6	48.7	47.7	48.2
	60代	240	60.4	60.8	50.8	55.4	45.0	46.3	48.3	47.9
	70代以上	127	53.5	54.3	54.3	60.6	45.7	48.8	47.2	41.7
行政区別	葵区	353	56.1	47.9	51.3	43.9	43.3	43.3	42.2	42.5
	駿河区	304	60.9	59.2	55.6	57.9	51.6	47.4	45.7	48.7
	清水区	296	59.1	55.7	52.0	56.1	46.3	45.3	47.3	42.2

性別で見ると、「病院を受診するタイミング」は男性 55.0%、女性 60.7%となっています。「認知症やMCI（軽度認知障害）の予防方法」は男性 53.7%、女性 54.0%となっています。

年代別で見ると、「病院を受診するタイミング」は40代 69.6%、30代 63.6%、60代 60.4%の順になっています。「認知症やMCI（軽度認知障害）の予防方法」は60代 60.8%、50代 54.8%、30代 54.5%の順になっています。

行政区別で見ると、「病院を受診するタイミング」は駿河区 60.9%、清水区 59.1%、葵区 56.1%の順になっています。

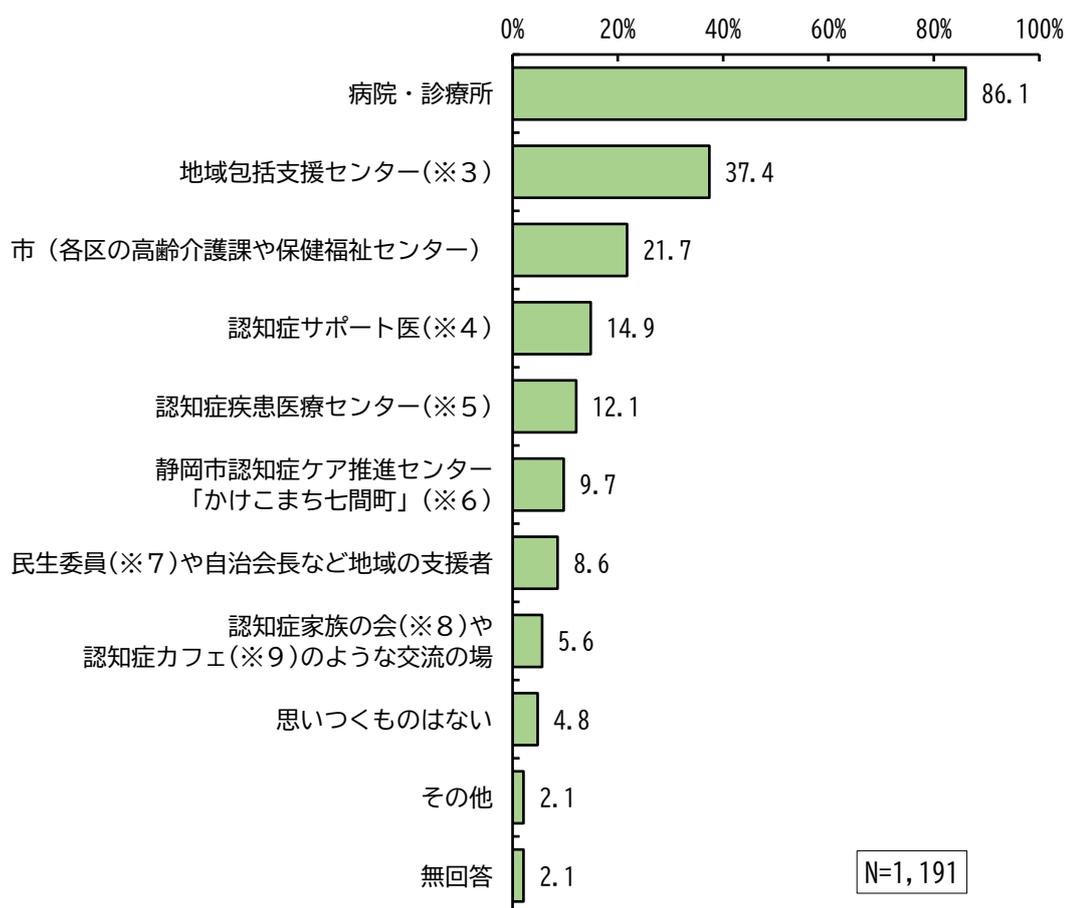
単位：(%)

		家庭での介護の方法	医療・介護などの制度やサービス、施設など	認知症の人との関わり方（職場や地域で見かけたときの対応など）	認知症の人が感じている思いや希望	若年性認知症について	認知症について学ぶことのできる講座やイベント	その他	無回答
全体		42.3	40.6	39.2	29.6	27.9	14.5	1.9	1.2
性別	男性	42.0	36.5	33.0	23.2	27.2	14.4	2.5	1.9
	女性	42.7	43.1	43.1	33.7	28.2	14.4	1.6	0.7
年代別	10代	37.7	30.2	43.4	26.4	30.2	5.7	3.8	3.8
	20代	42.9	32.5	57.1	31.2	46.8	9.1	0.0	0.0
	30代	52.1	42.1	52.1	33.9	38.0	16.5	2.5	0.8
	40代	53.6	42.8	42.0	32.6	36.2	12.3	2.9	0.7
	50代	42.6	45.7	36.0	28.4	32.5	15.2	2.5	2.0
	60代	35.4	39.2	35.8	27.5	18.3	15.8	1.3	0.8
	70代以上	34.6	40.2	23.6	28.3	7.9	18.1	0.8	0.8
行政区別	葵区	41.1	39.9	37.7	27.5	25.8	11.9	1.4	1.1
	駿河区	41.8	46.4	42.1	31.6	27.6	14.8	2.0	1.3
	清水区	44.3	35.1	38.5	30.1	30.7	17.2	2.4	1.0

7 認知症に関する相談先の認知度

問7 認知症に関する相談先について、あなたが思いつくものがありますか。
(〇はいくつでも)

認知症に関する相談先の認知度については、「病院・診療所」86.1%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」37.4%、「市（各区の高齢介護課や保健福祉センター）」21.7%、「認知症サポート医」14.9%、「認知症疾患医療センター」12.1%などとなっています。



- ※3 地域包括支援センター
高齢者が、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように設置された、地域の相談窓口。介護・医療・福祉・健康など様々な面から総合的な支援を行う。
- ※4 認知症サポート医
認知症の人とその家族が、地域で安心して医療・介護を受けられるよう支援する、認知症に関する専門的知識を持った医師。
- ※5 認知症疾患医療センター
認知症の専門的な診断・治療・相談を行う専門医療機関。
- ※6 かけこまち七間町
認知症の本人やその家族の相談支援や、認知症予防や理解促進のためのイベントや講座を行う、静岡市独自の認知症に特化した施設。
- ※7 民生委員
厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う。
- ※8 認知症家族の会
認知症について悩みや葛藤を抱えた家族が集まる交流の場。
- ※9 認知症カフェ
認知症の人やその家族、地域住民、医療・介護の専門職などが気軽に集まり、お茶を飲みながら、交流や相談、情報交換ができる憩いの場。

令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

単位：(%)

	調査数(人)	病院・診療所	地域包括支援センター(※3)	市(各区の高齢介護課や保健福祉センター)	認知症サポート医(※4)	認知症疾患医療センター(※5)	静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」(※6)	民生委員(※7)や自治会長など地域の支援者	認知症家族の会(※8)や認知症カフェ(※9)のような交流の場	思いつくものはない	その他	無回答	
全体	1,191	86.1	37.4	21.7	14.9	12.1	9.7	8.6	5.6	4.8	2.1	2.1	
性別	男性	490	82.4	25.9	16.7	13.1	10.4	6.9	7.3	3.1	8.2	2.4	2.4
	女性	687	88.6	46.0	25.6	16.3	13.5	11.8	9.5	7.3	2.2	1.9	1.9
年代別	10代	81	84.0	11.1	9.9	7.4	12.3	2.5	1.2	1.2	9.9	0.0	3.7
	20代	110	93.6	21.8	15.5	9.1	8.2	5.5	4.5	6.4	0.9	3.6	0.0
	30代	145	94.5	30.3	23.4	10.3	10.3	9.0	8.3	7.6	2.8	2.1	0.7
	40代	170	93.5	29.4	18.2	11.8	9.4	8.2	8.8	6.5	2.9	4.7	0.6
	50代	230	86.1	50.0	27.8	13.5	12.2	11.3	9.6	6.1	4.8	1.3	1.3
	60代	286	83.2	44.4	24.8	19.6	13.3	12.9	9.8	5.2	5.6	1.7	2.4
	70代以上	166	71.7	45.8	20.5	22.9	16.9	10.2	11.4	4.8	7.2	1.2	6.0
行政区別	葵区	440	86.6	39.8	20.2	16.6	11.6	12.0	8.9	6.6	5.0	2.3	1.6
	駿河区	364	86.0	37.4	21.4	12.9	11.8	7.7	8.0	5.8	5.2	1.6	2.5
	清水区	384	85.4	34.9	24.0	14.6	13.0	8.9	8.9	4.4	4.2	2.3	2.3

性別で見ると、「病院・診療所」は男性82.4%、女性88.6%となっています。「地域包括支援センター」は男性25.9%、女性46.0%となっています。「思いつくものはない」は男性8.2%、女性2.2%となっています。

年代別で見ると、「病院・診療所」は30代94.5%、20代93.6%、40代93.5%の順になっています。「地域包括支援センター」は50代50.0%、70代以上45.8%、60代44.4%の順になっています。「思いつくものはない」は10代9.9%、70代以上7.2%、60代5.6%の順になっています。

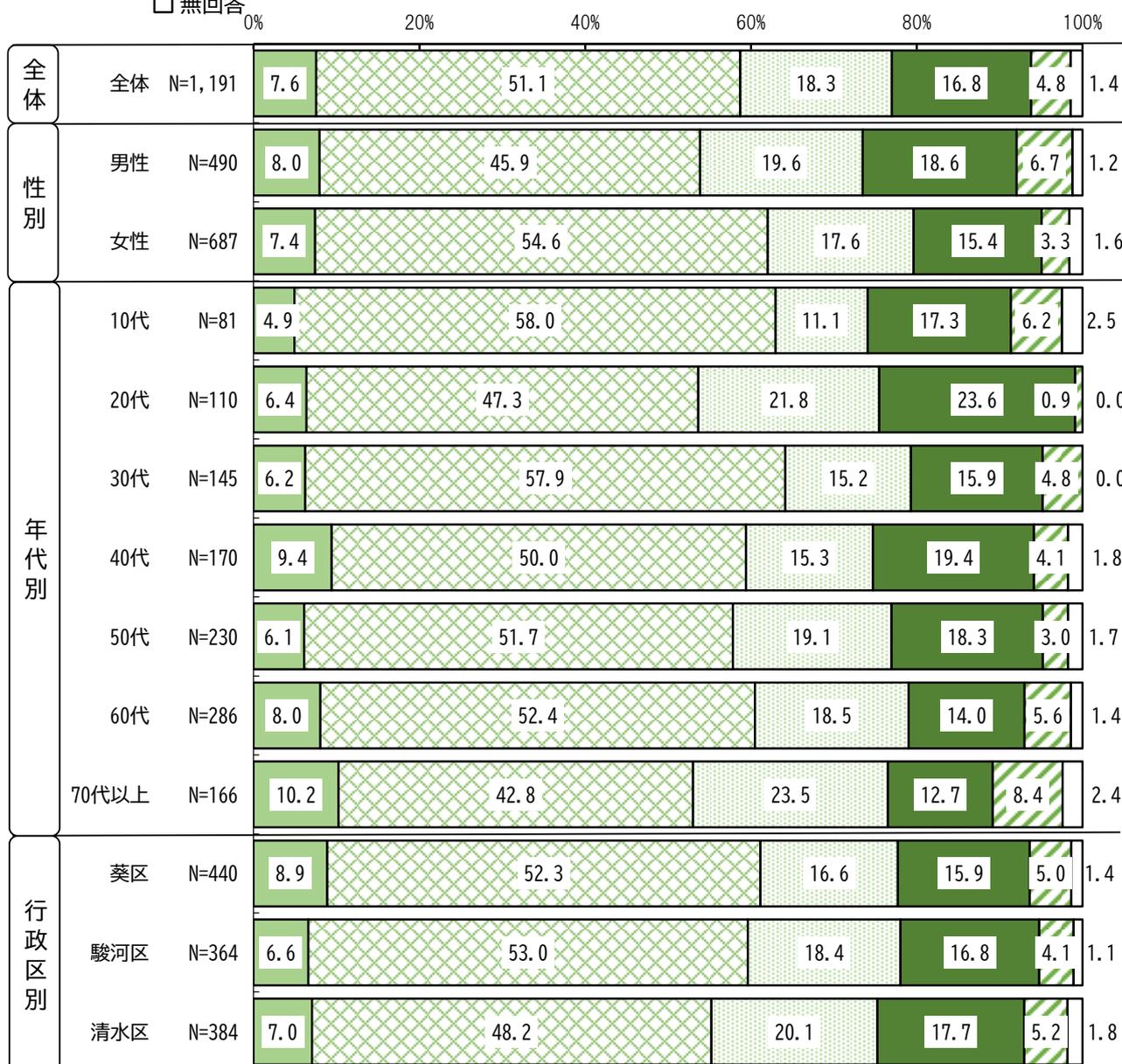
行政区別で見ると、「病院・診療所」は葵区86.6%、駿河区86.0%、清水区85.4%の順になっています。「地域包括支援センター」は葵区39.8%、駿河区37.4%、清水区34.9%の順になっています。「思いつくものはない」は駿河区5.2%、葵区5.0%、清水区4.2%の順になっています。

8 認知症の人の生活のイメージ

問8 あなたは、認知症の人の生活について、どのようなイメージを持っていますか。
(最もイメージに近いもの1つに○)

認知症の人の生活のイメージについては、「医療・介護などのサービスや家族の助けを受けながら生活している」51.1%と最も多く、次いで「身の回りのことができなくなるので、介護施設で生活している」18.3%、「暴言・暴力や徘徊などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今までどおり生活できない」16.8%、「自分や家族で工夫しながら、今までどおり生活している」7.6%などとなっています。「わからない」4.8%となっています。

- 自分や家族で工夫しながら、今までどおり生活している
- ▨ 医療・介護などのサービスや家族の助けを受けながら生活している
- ▩ 身の回りのことができなくなるので、介護施設で生活している
- 暴言・暴力や徘徊などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今までどおり生活できない
- ▨ わからない
- 無回答



令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

性別でみると、「医療・介護などのサービスや家族の助けを受けながら生活している」は男性 45.9%、女性 54.6%となっています。「身の回りのことができなくなるので、介護施設で生活している」は男性 19.6%、女性 17.6%となっています。「わからない」は男性 6.7%、女性 3.3%となっています。

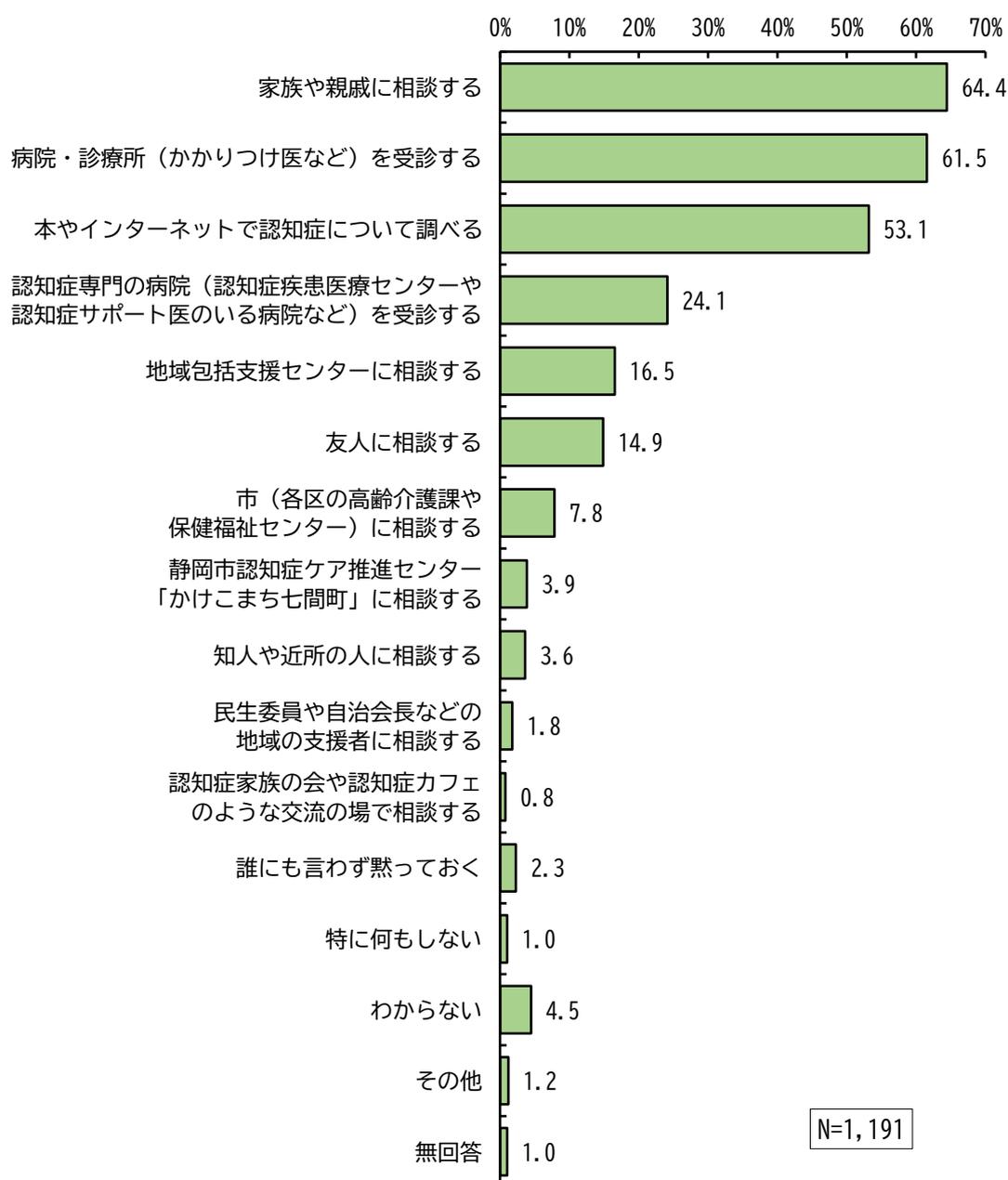
年代別でみると、「医療・介護などのサービスや家族の助けを受けながら生活している」は10代 58.0%、30代 57.9%、60代 52.4%の順になっています。「身の回りのことができなくなるので、介護施設で生活している」は70代以上 23.5%、20代 21.8%、50代 19.1%の順になっています。「わからない」は70代以上 8.4%、10代 6.2%、60代 5.6%の順になっています。

行政区別でみると、「医療・介護などのサービスや家族の助けを受けながら生活している」は駿河区 53.0%、葵区 52.3%、清水区 48.2%の順になっています。「身の回りのことができなくなるので、介護施設で生活している」は清水区 20.1%、駿河区 18.4%、葵区 16.6%の順になっています。「わからない」は清水区 5.2%、葵区 5.0%、駿河区 4.1%の順になっています。

9 自分が認知症かもしれないと思ったらどうするか

問9 もし、あなたが自分のことを「認知症かもしれない」と思ったら、どうしますか。
(〇はいくつでも)

自分が認知症かもしれないと思ったらどうするかについては、「家族や親戚に相談する」64.4%と最も多く、次いで「病院・診療所（かかりつけ医など）を受診する」61.5%、「本やインターネットで認知症について調べる」53.1%、「認知症専門の病院（認知症疾患医療センターや認知症サポート医のいる病院など）を受診する」24.1%、「地域包括支援センターに相談する」16.5%などとなっています。「誰にも言わず黙っておく」2.3%、「特に何もしない」1.0%、「わからない」4.5%となっています。



令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

単位：（％）

		調査数（人）	家族や親戚に相談する	病院・診療所（かかりつけ医など）を受診する	本やインターネットで認知症について調べると	認知症専門の病院（認知症疾患医療センター）や認知症サポート医のいる病院などを受診する	地域包括支援センターに相談する	友人に相談する	市（各区の高齢介護課や保健福祉センター）に相談する	静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」に相談する
全体		1,191	64.4	61.5	53.1	24.1	16.5	14.9	7.8	3.9
性別	男性	490	65.3	59.0	51.2	19.4	13.7	12.9	9.4	4.7
	女性	687	63.8	63.5	54.4	27.7	18.6	16.3	6.6	3.2
年代別	10代	81	65.4	55.6	39.5	11.1	8.6	25.9	4.9	1.2
	20代	110	71.8	60.0	61.8	13.6	5.5	16.4	0.9	3.6
	30代	145	68.3	64.1	66.2	23.4	13.8	18.6	8.3	2.8
	40代	170	67.1	60.6	61.8	19.4	11.8	16.5	4.7	2.9
	50代	230	61.3	63.0	56.1	31.7	19.1	13.5	5.7	3.5
	60代	286	63.6	63.3	49.3	27.6	18.2	12.2	13.3	4.9
	70代以上	166	58.4	59.6	36.1	25.9	28.3	10.2	9.6	5.4
行政区別	葵区	440	63.0	59.8	51.1	22.0	15.7	15.5	6.6	5.0
	駿河区	364	64.6	65.1	55.2	26.1	17.6	14.8	7.1	1.9
	清水区	384	65.9	60.4	53.4	24.5	16.4	14.3	9.6	4.2

性別で見ると、「家族や親戚に相談する」は男性65.3%、女性63.8%となっています。「病院・診療所（かかりつけ医など）を受診する」は男性59.0%、女性63.5%となっています。「わからない」は男性4.1%、女性4.5%となっています。

年代別で見ると、「家族や親戚に相談する」は20代71.8%、30代68.3%、40代67.1%の順になっています。「病院・診療所（かかりつけ医など）を受診する」は30代64.1%、60代63.3%、50代63.0%の順になっています。「わからない」は10代9.9%、70代以上7.2%、40代4.7%の順になっています。

単位：(%)

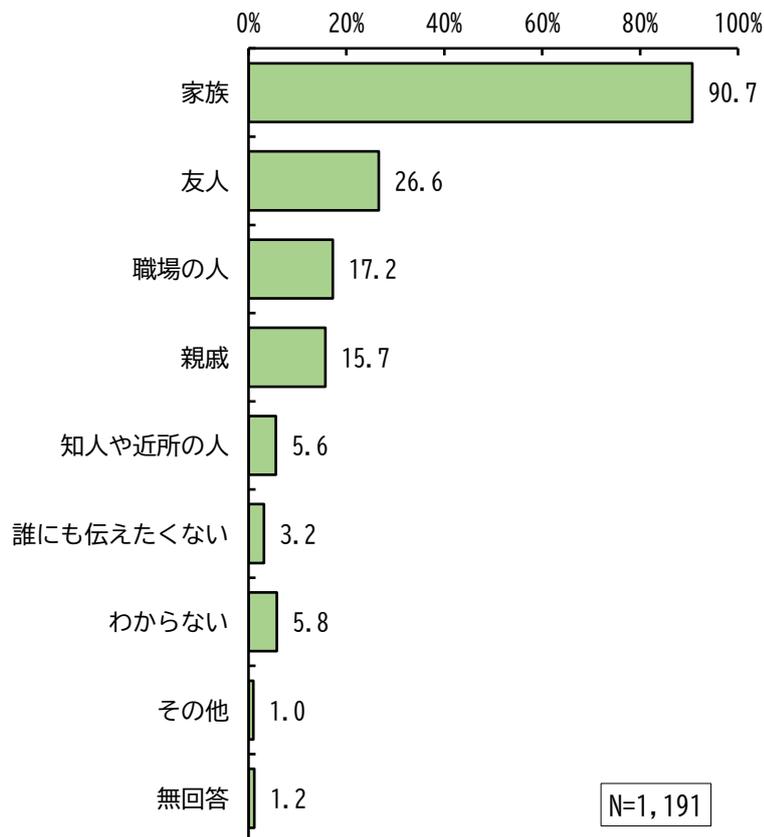
		知人や近所の人に相談する	民生委員や自治会長などの地域の支援者に相談する	認知症家族の会や認知症カフェのような交流の場で相談する	誰にも言わず黙っておく	特に何もしない	わからない	その他	無回答
全体		3.6	1.8	0.8	2.3	1.0	4.5	1.2	1.0
性別	男性	3.3	1.6	0.4	1.6	1.2	4.1	2.0	1.0
	女性	3.9	1.9	1.0	2.6	0.9	4.5	0.6	1.0
年代別	10代	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	9.9	0.0	1.2
	20代	2.7	0.9	0.9	2.7	0.0	1.8	2.7	0.0
	30代	5.5	0.7	1.4	0.0	0.7	3.4	0.0	0.0
	40代	2.9	1.2	0.6	1.8	1.8	4.7	1.8	0.6
	50代	4.8	2.2	0.9	1.7	0.4	2.6	1.3	0.9
	60代	3.1	2.1	0.7	4.2	1.4	3.8	1.4	1.4
	70代以上	2.4	3.6	0.6	1.2	1.8	7.2	0.6	2.4
行政区別	葵区	2.5	1.8	0.5	2.0	1.1	4.5	2.0	0.5
	駿河区	3.6	0.8	0.8	1.9	1.4	4.4	0.5	0.8
	清水区	4.9	2.6	1.0	2.9	0.5	4.2	0.8	1.8

行政区別でみると、「家族や親戚に相談する」は清水区 65.9%、駿河区 64.6%、葵区 63.0%の順になっています。「病院・診療所（かかりつけ医など）を受診する」は駿河区 65.1%、清水区 60.4%、葵区 59.8%の順になっています。「わからない」は葵区 4.5%、駿河区 4.4%、清水区 4.2%の順になっています。

10 自分が認知症になったら誰に伝えるか

問10 もし、あなたが認知症になったら、誰に伝えようと思いますか。
(〇はいくつでも)

自分が認知症になったら誰に伝えるかについては、「家族」90.7%と最も多く、次いで「友人」26.6%、「職場の人」17.2%、「親戚」15.7%、「知人や近所の人」5.6%などとなっています。「誰にも伝えたくない」3.2%、「わからない」5.8%となっています。



単位：(%)

		調査数(人)	家族	友人	職場の人	親戚	知人や近所の人	誰にも伝えたくない	わからない	その他	無回答
全体		1,191	90.7	26.6	17.2	15.7	5.6	3.2	5.8	1.0	1.2
性別	男性	490	89.4	22.0	16.3	15.7	5.3	3.1	6.5	1.0	1.2
	女性	687	91.8	30.1	17.8	15.7	6.0	3.3	4.9	1.0	1.2
年代別	10代	81	86.4	39.5	12.3	14.8	1.2	2.5	4.9	1.2	1.2
	20代	110	92.7	32.7	17.3	14.5	2.7	4.5	3.6	1.8	0.0
	30代	145	94.5	30.3	31.0	17.2	8.3	0.7	4.1	2.1	0.0
	40代	170	94.7	31.2	31.8	20.0	8.2	1.8	4.1	0.6	0.6
	50代	230	90.9	24.8	17.8	13.5	6.1	3.0	6.1	0.0	0.9
	60代	286	88.8	23.8	10.1	15.0	4.2	3.8	7.3	1.4	1.4
	70代以上	166	87.3	16.3	3.6	15.7	6.6	5.4	7.2	0.6	3.6
行政区別	葵区	440	90.7	26.8	16.8	15.9	5.0	4.1	5.7	1.1	0.5
	駿河区	364	90.9	26.4	18.4	15.1	5.5	1.9	6.6	0.5	1.1
	清水区	384	90.6	26.8	16.4	16.1	6.5	3.4	4.9	1.3	2.1

性別でみると、「家族」は男性89.4%、女性91.8%となっています。「友人」は男性22.0%、女性30.1%となっています。「わからない」は男性6.5%、女性4.9%となっています。

年代別でみると、「家族」は40代94.7%、30代94.5%、20代92.7%の順になっています。「友人」は10代39.5%、20代32.7%、40代31.2%の順になっています。「わからない」は60代7.3%、70代以上7.2%、50代6.1%の順になっています。

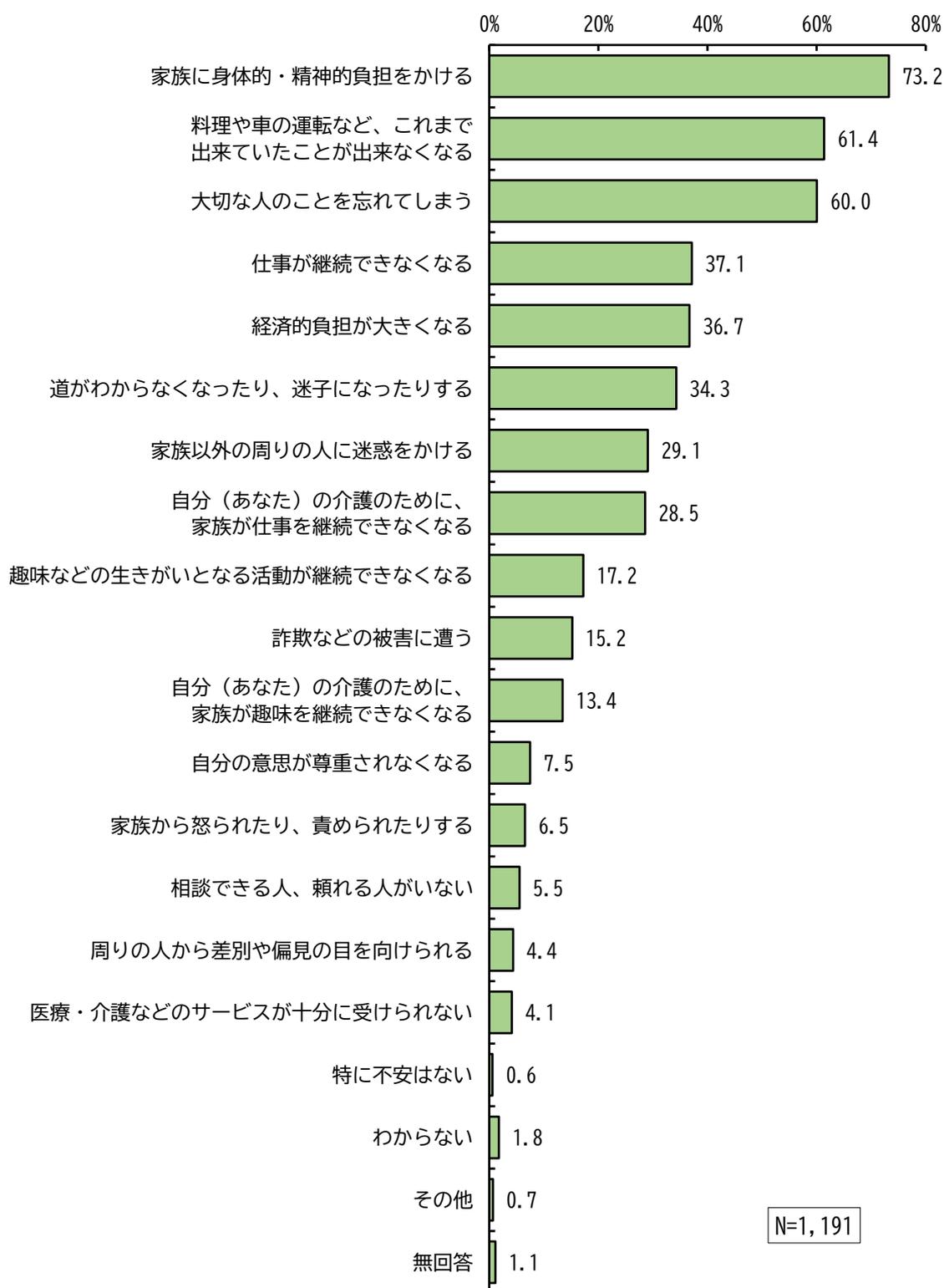
行政区別でみると、「家族」は駿河区90.9%、葵区90.7%、清水区90.6%の順になっています。「友人」は葵区、清水区26.8%、駿河区26.4%の順になっています。「わからない」は駿河区6.6%、葵区5.7%、清水区4.9%の順になっています。

11 自分や家族が認知症になった場合の心配や不安なこと

問11 もし、あなたや家族が認知症になったら、あなたはどのようなことに心配や不安を感じると
思いますか。
自分と家族のそれぞれの場合について、あてはまるものを選択してください。
(それぞれ○は5つまで)

あなたが認知症になった場合の心配事

あなたが認知症になった場合の心配事については、「家族に身体的・精神的負担をかける」73.2%と最も多く、次いで「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる」61.4%、「大切な人のことを忘れてしまう」60.0%、「仕事が継続できなくなる」37.1%、「経済的負担が大きくなる」36.7%、「道がわからなくなったり、迷子になったりする」34.3%、「家族以外の周りの人に迷惑をかける」29.1%、「自分（あなた）の介護のために、家族が仕事を継続できなくなる」28.5%などとなっています。「特に不安はない」0.6%、「わからない」1.8%となっています。



令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

単位：(%)

		調査数(人)	家族に身体的・精神的負担をかける	料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる	大切な人のことを忘れてしまう	仕事が続けできなくなる	経済的負担が大きくなる	道がわからなくなったり、迷子になったりする	家族以外の周りの人に迷惑をかける	自分(あなた)の介護のために、家族が仕事を続けできなくなる	趣味などの生きがいとなる活動が継続できなくなる	詐欺などの被害に遭う
全体		1,191	73.2	61.4	60.0	37.1	36.7	34.3	29.1	28.5	17.2	15.2
性別	男性	490	66.9	54.5	59.0	40.0	36.9	30.8	30.0	25.3	21.2	16.9
	女性	687	77.4	66.2	61.0	34.9	36.5	36.8	28.5	30.6	14.4	14.1
年代別	10代	81	59.3	53.1	76.5	19.8	18.5	25.9	33.3	23.5	23.5	11.1
	20代	110	77.3	62.7	67.3	39.1	26.4	31.8	47.3	35.5	19.1	10.9
	30代	145	80.0	64.1	63.4	49.0	38.6	37.2	28.3	31.0	19.3	13.8
	40代	170	74.1	65.3	67.6	52.4	31.2	37.6	41.2	33.5	8.8	15.9
	50代	230	72.6	58.3	50.9	42.2	47.0	32.6	23.5	33.9	13.5	16.1
	60代	286	75.2	63.6	60.5	30.1	39.5	35.3	23.4	21.3	18.9	17.8
	70代以上	166	68.1	58.4	48.8	23.5	38.0	34.3	20.5	23.5	21.7	14.5
行政区別	葵区	440	73.4	62.0	58.2	38.9	36.1	35.7	27.7	26.8	17.3	16.4
	駿河区	364	72.8	61.0	59.6	37.9	36.3	35.7	30.2	29.9	15.7	15.7
	清水区	384	73.4	60.9	62.8	34.4	38.0	31.3	29.4	28.9	18.5	13.3

性別で見ると、「家族に身体的・精神的負担をかける」は男性66.9%、女性77.4%となっています。「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる」は男性54.5%、女性66.2%となっています。「大切な人のことを忘れてしまう」は男性59.0%、女性61.0%となっています。「特に不安はない」は男性1.0%、女性0.3%となっています。「わからない」は男性1.8%、女性1.5%となっています。

年代別で見ると、「家族に身体的・精神的負担をかける」は30代80.0%、20代77.3%、60代75.2%の順になっています。「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる」は40代65.3%、30代64.1%、60代63.6%の順になっています。「わからない」は70代以上3.6%、40代2.4%、20代1.8%の順になっています。

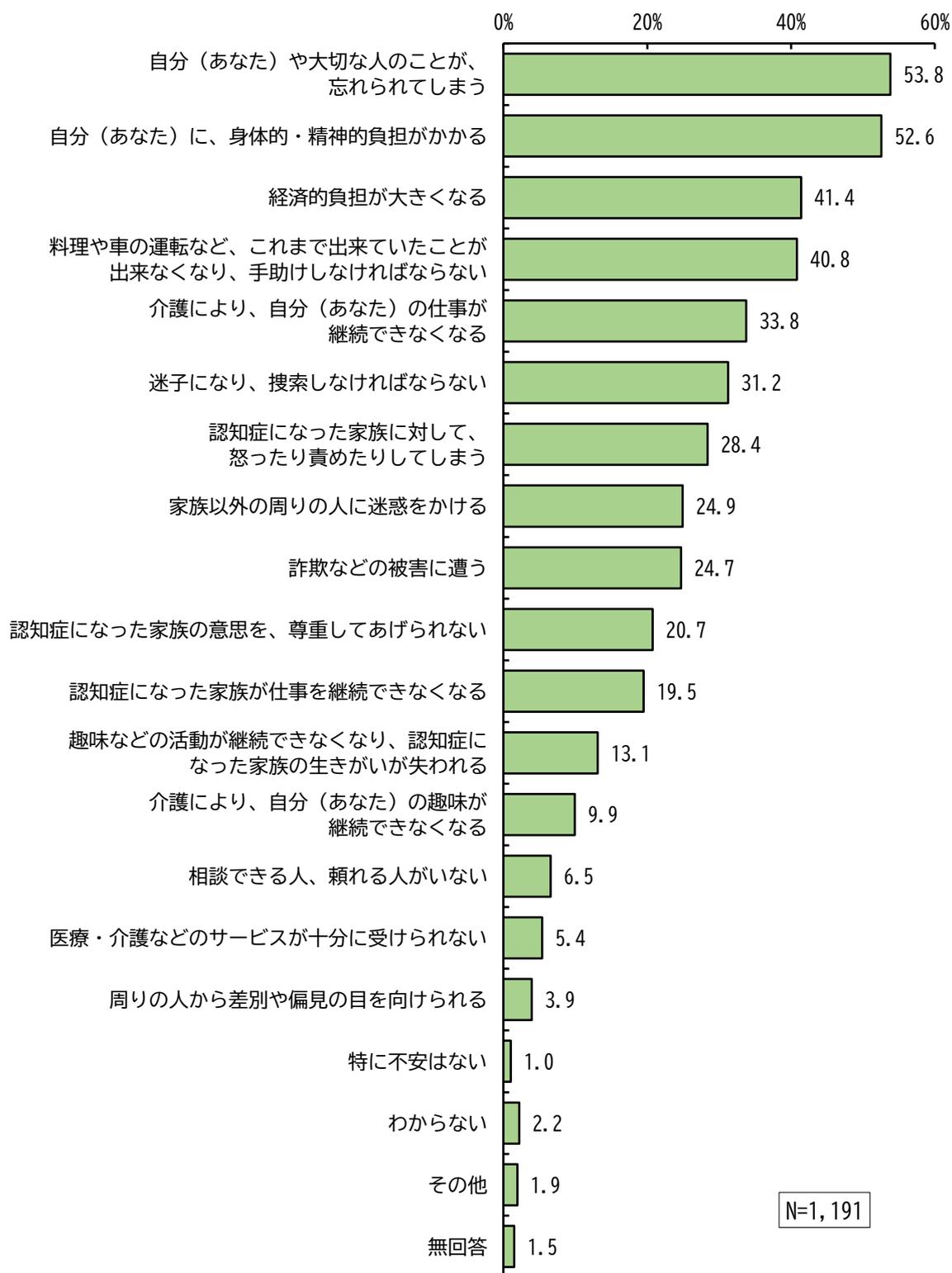
単位：(%)

		自分(あなた)の介護のために、家族が趣味を継続できなくなる	自分の意思が尊重されなくなる	家族から怒られたり、責められたりする	相談できる人、頼れる人がいない	周りの人から差別や偏見の目を向けられる	医療・介護などのサービスが十分に受けられない	特に不安はない	わからない	その他	無回答
全体		13.4	7.5	6.5	5.5	4.4	4.1	0.6	1.8	0.7	1.1
性別	男性	15.3	6.5	4.7	5.5	3.7	4.1	1.0	1.8	0.6	1.2
	女性	12.2	8.2	8.0	5.7	4.9	4.1	0.3	1.5	0.7	1.0
年代別	10代	13.6	2.5	11.1	1.2	11.1	0.0	1.2	1.2	0.0	1.2
	20代	15.5	6.4	3.6	3.6	4.5	2.7	0.9	1.8	1.8	0.0
	30代	20.0	4.1	4.8	4.1	6.9	4.8	0.7	1.4	0.7	0.0
	40代	15.9	1.2	5.3	4.7	2.9	0.6	0.0	2.4	0.6	0.6
	50代	16.1	9.6	6.5	7.4	4.3	5.2	0.0	0.9	0.0	0.9
	60代	9.1	10.1	7.0	5.9	1.0	5.9	0.3	1.0	1.0	1.4
	70代以上	7.2	12.7	8.4	7.8	6.0	5.4	1.8	3.6	0.6	3.0
行政区別	葵区	13.2	8.0	6.8	6.4	3.4	4.3	0.9	1.4	0.9	0.5
	駿河区	13.7	9.6	6.0	4.9	4.4	3.6	0.3	1.4	0.3	1.1
	清水区	13.3	4.9	6.8	5.2	5.5	4.4	0.5	2.3	0.8	1.8

行政区別でみると、「家族に身体的・精神的負担をかける」は葵区、清水区73.4%、駿河区72.8%の順になっています。「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる」は葵区62.0%、駿河区61.0%、清水区60.9%の順になっています。「わからない」は清水区2.3%、葵区、駿河区1.4%の順になっています。

家族が認知症になった場合のあなたの心配事

家族が認知症になった場合のあなたの心配事については、「自分（あなた）や大切な人のことが、忘れられてしまう」53.8%と最も多く、次いで「自分（あなた）に、身体的・精神的負担がかかる」52.6%、「経済的負担が大きくなる」41.4%、「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなり、手助けしなければならない」40.8%、「介護により、自分（あなた）の仕事が継続できなくなる」33.8%、「迷子になり、捜索しなければならない」31.2%、「認知症になった家族に対して、怒ったり責めたりしてしまう」28.4%、「家族以外の周りの人に迷惑をかける」24.9%などとなっています。「特に不安はない」1.0%、「わからない」2.2%となっています。



令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

単位：(%)

		調査数(人)	忘れられてしまう	自分(あなた)に、身体的・精神的負担がかかる	経済的負担が大きくなる	「わからない」	「特に不安はない」	「わからない」	介護により、自分(あなた)の仕事が継続できなくなる	迷子になり、捜索しなければならない	責めたりした家族に対して、怒ったり	家族以外の周りの人に迷惑をかける	詐欺などの被害に遭う	認知症になった家族の意思を、尊重してあげられない
全体		1,191	53.8	52.6	41.4	40.8	33.8	31.2	28.4	24.9	24.7	20.7		
性別	男性	490	56.3	48.2	38.8	41.4	36.9	29.8	23.9	24.5	23.9	18.0		
	女性	687	52.3	55.6	43.7	40.6	31.9	32.5	31.6	25.2	25.3	22.6		
年代別	10代	81	70.4	39.5	24.7	43.2	19.8	30.9	21.0	12.3	22.2	18.5		
	20代	110	66.4	50.0	39.1	30.0	38.2	26.4	40.0	34.5	27.3	25.5		
	30代	145	61.4	52.4	36.6	46.9	42.1	26.9	32.4	29.0	21.4	27.6		
	40代	170	51.8	52.9	42.9	51.8	42.9	38.2	28.8	31.8	31.2	18.2		
	50代	230	43.5	57.8	50.9	38.7	40.9	29.1	25.7	26.1	27.0	19.6		
	60代	286	56.6	51.0	40.9	38.1	27.3	32.2	28.7	19.2	24.1	21.7		
	70代以上	166	42.8	55.4	42.2	37.3	22.3	32.5	24.1	22.3	17.5	15.1		
行政区別	葵区	440	55.2	54.3	41.8	42.7	32.7	31.8	27.7	23.6	23.6	16.4		
	駿河区	364	52.2	51.9	40.9	40.9	33.5	34.6	31.3	25.8	26.1	20.6		
	清水区	384	53.9	51.0	41.7	38.3	35.2	27.3	26.6	25.5	24.2	25.8		

性別で見ると、「自分(あなた)や大切な人のことが、忘れられてしまう」は男性56.3%、女性52.3%となっています。「自分(あなた)に、身体的・精神的負担がかかる」は男性48.2%、女性55.6%となっています。「経済的負担が大きくなる」は男性38.8%、女性43.7%となっています。「特に不安はない」は男性1.4%、女性0.7%となっています。「わからない」は男性2.7%、女性1.7%となっています。

年代別で見ると、「自分(あなた)や大切な人のことが、忘れられてしまう」は10代70.4%、20代66.4%、30代61.4%の順になっています。「自分(あなた)に、身体的・精神的負担がかかる」は50代57.8%、70代以上55.4%、40代52.9%の順になっています。「わからない」は70代以上4.8%、60代3.1%、40代1.8%の順になっています。

単位：(%)

		認 知 症 に な っ た 家 族 が 仕 事 を 継 続 で き な く な る	趣 味 な ど の 活 動 が 継 続 で き な く な り 、 認 知 症 に な っ た 家 族 の 生 き が い が 失 わ れ る	介 護 に よ り 、 自 分 (あ な た) の 趣 味 が 継 続 で き な く な る	相 談 で き る 人 、 頼 れ る 人 が い な い	医 療 ・ 介 護 な ど の サ ー ビ ス が 十 分 に 受 け ら れ な い	周 り の 人 か ら 差 別 や 偏 見 の 目 を 向 け ら れ る	特 に 不 安 は な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		19.5	13.1	9.9	6.5	5.4	3.9	1.0	2.2	1.9	1.5
性別	男性	15.7	12.2	12.9	4.7	6.1	3.3	1.4	2.7	1.6	1.6
	女性	22.0	13.5	7.7	8.0	4.9	4.5	0.7	1.7	2.2	1.3
年代別	10代	18.5	11.1	18.5	3.7	2.5	16.0	1.2	1.2	0.0	1.2
	20代	17.3	13.6	12.7	5.5	3.6	1.8	1.8	0.9	1.8	0.0
	30代	26.9	19.3	15.2	8.3	4.8	6.2	0.7	1.4	0.0	0.0
	40代	18.8	12.4	8.8	5.3	3.5	2.4	0.0	1.8	1.8	1.8
	50代	22.2	12.6	8.7	5.7	6.5	1.3	0.4	0.9	1.7	0.9
	60代	16.4	12.2	4.5	8.0	8.0	2.8	1.4	3.1	2.8	1.7
	70代以上	17.5	10.8	10.8	7.2	4.2	4.8	1.8	4.8	3.6	4.2
行政区別	葵区	19.8	12.7	11.4	7.0	6.6	3.4	0.9	2.0	2.0	1.1
	駿河区	19.8	16.2	8.0	5.5	3.8	4.4	1.1	1.4	1.9	1.6
	清水区	19.0	10.4	9.9	7.0	5.5	4.2	1.0	3.1	1.8	1.8

行政区別でみると、「自分（あなた）や大切な人のことが、忘れられてしまう」は葵区 55.2%、清水区 53.9%、駿河区 52.2%の順になっています。「自分（あなた）に、身体的・精神的負担がかかる」は葵区 54.3%、駿河区 51.9%、清水区 51.0%の順になっています。「わからない」は清水区 3.1%、葵区 2.0%、駿河区 1.4%の順になっています。

【あなたが認知症になった場合の心配事と家族が認知症になった場合のあなたの心配事の比較】

単位：（％）

あなたが認知症になった場合の心配事 N=1,191		家族が認知症になった場合のあなたの心配事 N=1,191	
大切な人のことを忘れてしまう	60.0	自分（あなた）や大切な人のことが、忘れられてしまう	53.8
料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる	61.4	料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなり、手助けしなければならない	40.8
道がわからなくなったり、迷子になったりする	34.3	迷子になり、捜索しなければならない	31.2
詐欺などの被害に遭う	15.2	詐欺などの被害に遭う	24.7
趣味などの生きがいとなる活動が継続できなくなる	17.2	趣味などの活動が継続できなくなり、認知症になった家族の生きがい失われる	13.1
仕事が継続できなくなる	37.1	認知症になった家族が仕事を継続できなくなる	19.5
家族に身体的・精神的負担をかける	73.2	自分（あなた）に、身体的・精神的負担がかかる	52.6
自分（あなた）の介護のために、家族が仕事を継続できなくなる	28.5	介護により、自分（あなた）の仕事が継続できなくなる	33.8
自分（あなた）の介護のために、家族が趣味を継続できなくなる	13.4	介護により、自分（あなた）の趣味が継続できなくなる	9.9
自分の意思が尊重されなくなる	7.5	認知症になった家族の意思を、尊重してあげられない	20.7
家族から怒られたり、責められたりする	6.5	認知症になった家族に対して、怒ったり責めたりしてしまう	28.4
家族以外の周りの人に迷惑をかける	29.1	家族以外の周りの人に迷惑をかける	24.9
周りの人から差別や偏見の目を向けられる	4.4	周りの人から差別や偏見の目を向けられる	3.9
経済的負担が大きくなる	36.7	経済的負担が大きくなる	41.4
医療・介護などのサービスが十分に受けられない	4.1	医療・介護などのサービスが十分に受けられない	5.4
相談できる人、頼れる人がいない	5.5	相談できる人、頼れる人がいない	6.5
特に不安はない	0.6	特に不安はない	1.0
わからない	1.8	わからない	2.2
その他	0.7	その他	1.9
無回答	1.1	無回答	1.5

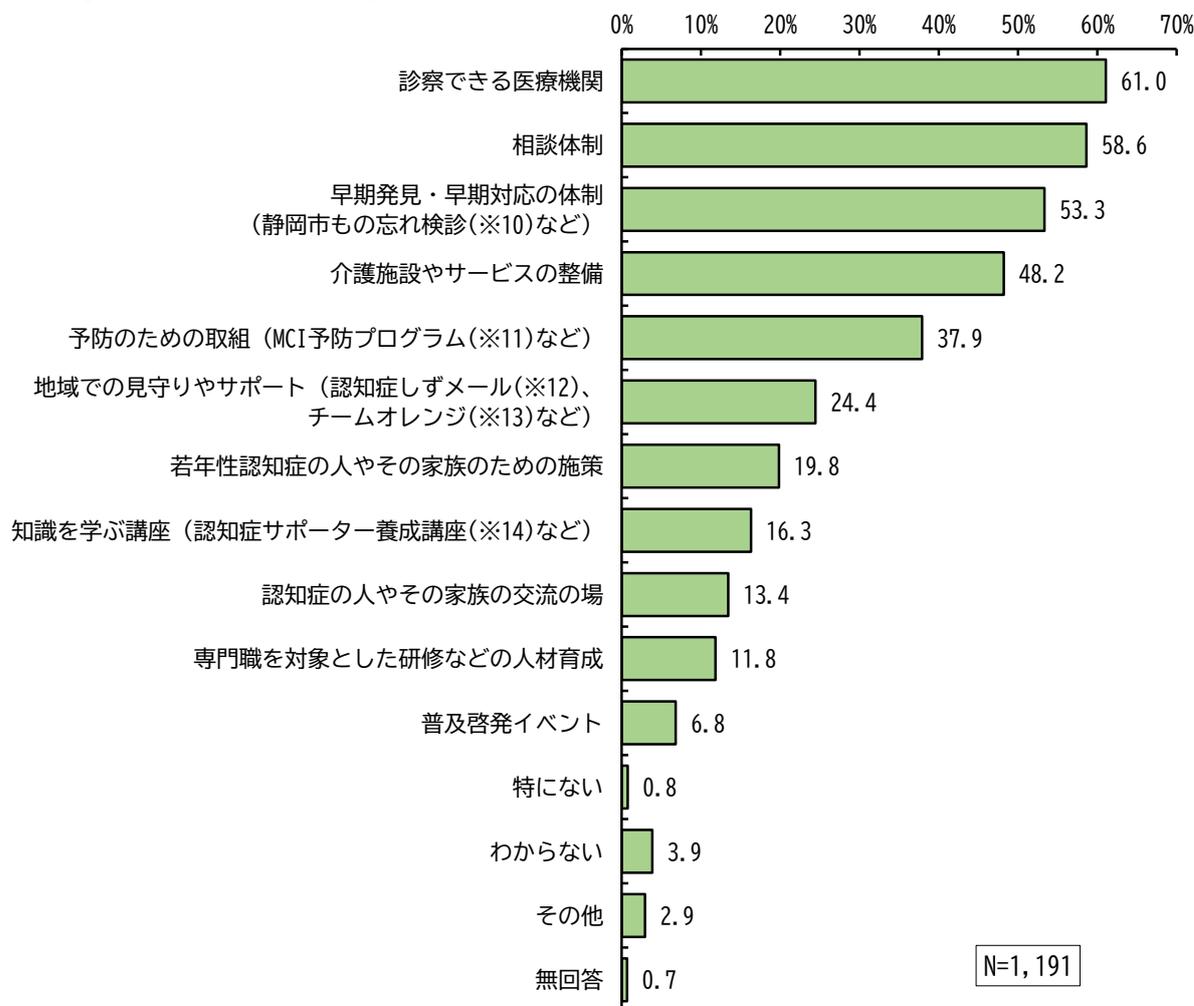
あなたが認知症になった場合の心配事と家族が認知症になった場合のあなたの心配事の比較すると、差異がみられるのは「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる」61.4%、「料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなり、手助けしなければならない」40.8%となっています。

「仕事が継続できなくなる」37.1%、「認知症になった家族が仕事を継続できなくなる」19.5%となっています。「家族に身体的・精神的負担をかける」73.2%、「自分（あなた）に、身体的・精神的負担がかかる」52.6%となっています。「家族から怒られたり、責められたりする」6.5%、「認知症になった家族に対して、怒ったり責めたりしてしまう」28.4%となっています。

12 今後充実してほしい認知症施策

問12 今後、認知症施策を進めるうえで、充実してほしいことは何ですか。
(〇は5つまで)

今後充実してほしい認知症施策については、「診察できる医療機関」61.0%と最も多く、次いで「相談体制」58.6%、「早期発見・早期対応の体制（静岡市もの忘れ検診など）」53.3%、「介護施設やサービスの整備」48.2%、「予防のための取組（MCI 予防プログラムなど）」37.9%などとなっています。「特にない」0.8%、「わからない」3.9%となっています。



※10 静岡市もの忘れ検診

65歳以上の高齢者を対象とした、認知機能の低下がないかどうかを調べる検診。早期発見・早期対応を目的としており、問診や認知機能検査を実施する。

※11 MCI 予防プログラム（静岡型認知症・MCI 予防プログラム）

MCI（軽度認知障害）や認知症の予防につながる、運動・脳トレーニング体操・レクリエーションを組み合わせた静岡市独自のプログラム。

※12 認知症しずメール

認知症の人が徘徊で行方不明になったときに、早く安全に保護できるよう、見守り協力者（メール登録いただいた市民の皆様）に行方不明者の情報をメール送信し、捜索協力をあおぐ取組。

※13 チームオレンジ

認知症の本人と共に、地域活動を行うチーム。近隣の認知症サポーターや専門職がチームを組み、本人の悩みや家族のニーズと支援をつなぐ。

※14 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識や適切な対応を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」を養成する講座。

令和7年度認知症に関する意識等調査報告書

単位：（％）

		調査数（人）	診察できる医療機関	相談体制	早期発見・早期対応の体制（静岡市もの忘れ検診（※10）など）	介護施設やサービスの整備	予防のための取組（MCI予防プログラム（※11）など）	地域での見守りやサポート（※12）、チームオレンジ（※13）など）	策若年性認知症の人やその家族のための施策	講座を学ぶ講座（認知症サポーター養成講座（※14）など）
全体		1,191	61.0	58.6	53.3	48.2	37.9	24.4	19.8	16.3
性別	男性	490	60.6	57.1	50.4	42.4	38.8	17.8	16.5	17.6
	女性	687	61.6	59.8	55.3	52.3	37.4	29.1	22.0	15.3
年代別	10代	81	42.0	37.0	46.9	24.7	29.6	13.6	25.9	22.2
	20代	110	54.5	43.6	58.2	41.8	36.4	21.8	29.1	12.7
	30代	145	66.2	51.7	61.4	44.1	37.9	29.0	27.6	13.1
	40代	170	64.7	61.8	59.4	40.0	38.8	27.6	21.8	20.0
	50代	230	58.7	62.6	50.0	56.1	35.7	25.2	20.9	10.0
	60代	286	66.1	67.8	52.4	58.7	41.3	25.9	12.9	18.5
	70代以上	166	60.8	59.6	45.8	46.4	39.2	20.5	12.0	18.7
行政区別	葵区	440	59.3	59.1	51.6	48.2	35.7	25.5	19.1	15.0
	駿河区	364	61.5	57.1	54.9	46.4	40.4	27.7	18.4	18.7
	清水区	384	62.5	59.1	53.6	49.7	38.0	20.1	21.9	15.1

性別で見ると、「診察できる医療機関」は男性60.6%、女性61.6%となっています。「相談体制」は男性57.1%、女性59.8%となっています。「早期発見・早期対応の体制（静岡市もの忘れ検診など）」は男性50.4%、女性55.3%となっています。「特にない」は男性1.0%、女性0.6%となっています。「わからない」は男性5.7%、女性2.5%となっています。

年代別で見ると、「診察できる医療機関」は30代66.2%、60代66.1%、40代64.7%の順になっています。「相談体制」は60代67.8%、50代62.6%、40代61.8%の順になっています。「わからない」は10代7.4%、70代以上6.0%、40代4.7%の順になっています。

単位：(%)

		認知症の人やその家族の交流の場	専門職を対象とした研修などの人材育成	普及啓発イベント	特にない	わからない	その他	無回答
全体		13.4	11.8	6.8	0.8	3.9	2.9	0.7
性別	男性	10.4	10.4	8.8	1.0	5.7	3.7	1.0
	女性	15.7	12.8	5.2	0.6	2.5	2.5	0.4
年代別	10代	12.3	7.4	13.6	3.7	7.4	1.2	0.0
	20代	18.2	10.9	7.3	0.9	2.7	1.8	0.0
	30代	15.9	11.0	7.6	0.7	3.4	4.8	0.0
	40代	17.1	12.9	10.6	0.6	4.7	4.1	0.0
	50代	12.2	16.1	3.9	0.4	2.6	5.2	1.3
	60代	9.8	11.9	4.5	0.3	2.8	1.7	0.7
	70代以上	13.3	8.4	6.6	0.6	6.0	0.6	1.8
行政区別	葵区	13.2	10.7	6.4	1.4	3.6	3.0	0.5
	駿河区	14.0	11.3	6.3	0.3	2.7	3.0	0.5
	清水区	13.3	13.8	7.8	0.5	5.2	2.9	1.0

行政区別で見ると、「診察できる医療機関」は清水区62.5%、駿河区61.5%、葵区59.3%の順になっています。「相談体制」は葵区、清水区59.1%、駿河区57.1%の順になっています。「わからない」は清水区5.2%、葵区3.6%、駿河区2.7%の順になっています。

13 認知症の人が周りの人と支え合いながら地域で安心して暮らすことができていると思うか

問13 現在、認知症の人は、周りの人と支え合いながら、地域で安心して暮らすことができていると思いますか。(〇は1つ)

認知症の人が周りの人と支え合いながら地域で安心して暮らすことができていると思うかについては、「どちらかといえばそう思わない」36.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」24.4%、「全く思わない」7.1%となっています。また、『そう思う』（「思う」+「どちらかといえばそう思う」）は27.8%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」+「全く思わない」）は43.6%となっています。「わからない」27.5%となっています。

■ 思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ 全く思わない ■ わからない □ 無回答



性別でみると、『そう思う』（「思う」+「どちらかといえばそう思う」）は男性28.6%、女性27.3%となっています。『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」+「全く思わない」）は男性44.5%、女性43.0%となっています。「わからない」は男性26.5%、女性28.4%となっています。

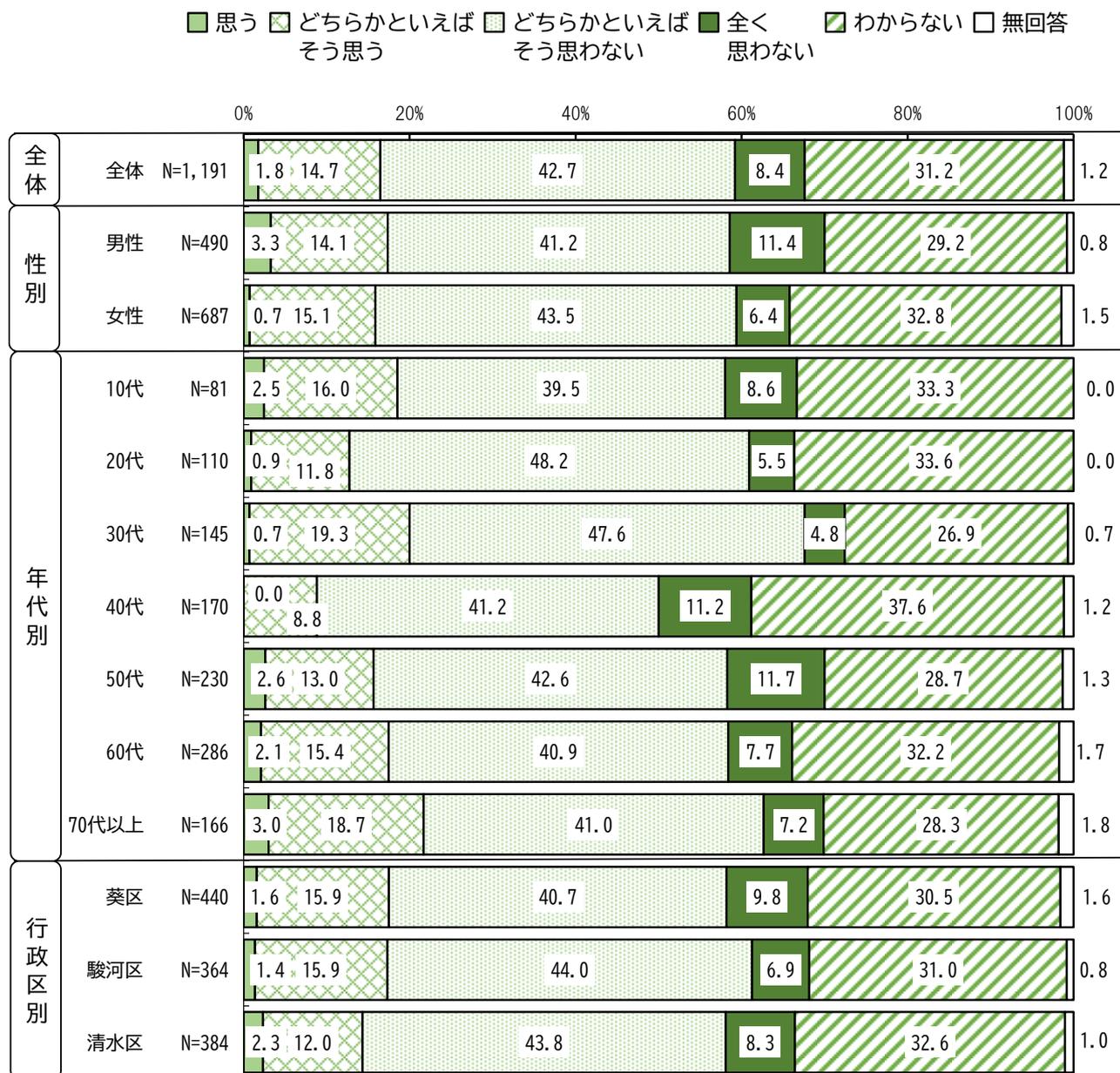
年代別でみると、『そう思う』は20代33.6%、70代以上31.9%、10代28.4%の順になっています。『そう思わない』は50代49.1%、30代49.0%、40代47.1%の順になっています。

行政区別でみると、『そう思う』は、清水区28.7%、駿河区28.1%、葵区27.0%の順になっています。『そう思わない』は葵区44.5%、清水区43.5%、駿河区42.6%の順になっています。

14 認知症の人は本人の意思が尊重され本人の望む生活を送ることができると思うか

問14 現在、認知症の人は、本人の意思が尊重され、本人の望む生活を送ることができると思いますか。(〇は1つ)

認知症の人は本人の意思が尊重され本人の望む生活を送ることができると思うかについては、「どちらかといえばそう思わない」42.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」14.7%、「全く思わない」8.4%となっています。また、『そう思う』（「思う」+「どちらかといえばそう思う」）は16.5%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」+「全く思わない」）は51.1%となっています。「わからない」31.2%となっています。



性別でみると、『そう思う』（「思う」+「どちらかといえばそう思う」）は男性17.4%、女性15.8%となっています。『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」+「全く思わない」）は男性52.6%、女性49.9%となっています。「わからない」は男性29.2%、女性32.8%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は70代以上21.7%、30代20.0%、10代18.5%の順になっています。『そう思わない』は50代54.3%、20代53.7%、30代、40代52.4%の順になっています。

行政区別でみると、『そう思う』は葵区17.5%、駿河区17.3%、清水区14.3%の順になっています。『そう思わない』は清水区52.1%、駿河区50.9%、葵区50.5%の順になっています。

07 静保地地第 1611 号
令和 7 年 10 月 24 日

静岡市長 難波 喬司
(静岡市地域包括ケア推進課)

『認知症に関する意識等調査』

～アンケートへのご協力のお願い～

平素より本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、令和 6 年 1 月 1 日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づき、本市における認知症施策推進計画の策定に向け取り組んでいます。この度、計画策定の一環として、市民の皆様を対象とした認知症に関する意識等調査を実施することとしました。

つきましては、大変お忙しい中恐縮ではございますが、趣旨をご理解のうえ、本調査へのご協力をお願いいたします。

なお、本調査は匿名で実施し、回答者が特定されることはありません。

- 1 調査対象者 住民基本台帳に登録された 15～74 歳の市民から無作為に抽出した 3,000 人
- 2 提出期限 令和7年11月28日(金)
- 3 提出方法 同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函
※切手は不要です。
- 4 その他
 - ・アンケートの質問には、宛名のご本人がご回答ください。
※ご本人自身でのご記入が難しい場合は、ご家族がご本人の意向を代筆していただいても構いません。
 - ・調査票は手入力で集計するため、多少の汚損等は支障ありません。
 - ・調査票や返信用封筒の再送が必要な場合は、下記の間合せ先へご連絡ください。
 - ・本調査は任意です。無理のない範囲でご協力ください。
- 5 間合せ先 静岡市 保健福祉長寿局 地域支え合い推進部
地域包括ケア推進課 認知症施策推進係 (担当：岡田・小野)
電 話：054-221-1623 (直通)
FAX：054-221-1577
メール：chiikikea@city.shizuoka.lg.jp
住 所：〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 静岡庁舎新館 14 階

問1 あなたは、認知症に関して、どの程度関心を持っていますか。

(〇は1つ)

- 1 関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心はない
- 4 関心はない
- 5 わからない

問2 あなたは、今までに認知症の人や認知症と思われる人と接したことがありますか。

(〇はいくつでも)

- 1 同居の家族・親族の中にいる (いた)
- 2 同居していない家族・親族の中にいる (いた)
- 3 友人や近所付き合いの中で、接したことがある
- 4 医療・介護の現場で働いている (いた) ため、接したことがある
- 5 仕事 (医療・介護の現場以外) を通じて、接したことがある
- 6 街中などで、たまたま見かけたことがある
- 7 自分自身が認知症の診断を受けている
- 8 接したことはない
- 9 その他 ()

問3 あなたは、認知症に関して、どの程度知っていますか。

(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 言葉は知っているがあまり知らない → 問5へ
- 4 ほとんど知らない → 問5へ

*上記【問3】で「1 よく知っている」「2 ある程度知っている」と回答された方にお尋ねします。

問4 あなたは、認知症についてどのようなことを知っていますか。

(〇はいくつでも)

- 1 認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が、日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称であるということ
- 2 認知症には、種類があること
- 3 認知症の症状は、病気の種類によって特徴があること
- 4 認知症は、MCI (軽度認知障害) *1を経て発症すること
- 5 アルツハイマー型認知症*2の初期段階に使用できる新しい薬が最近出来たこと
- 6 認知症になるのは高齢者だけではなく、65歳未満で発症する若年性認知症もあること
- 7 認知症も早期発見が大切であること
- 8 その他 ()

※印の用語説明は、最終ページにあります。

問5 あなたは、認知症について知りたい、学びたいと思いますか。

(○は1つ)

- 1 思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない → 問7へ
- 4 そう思わない → 問7へ
- 5 わからない → 問7へ

*上記【問5】で、「1 思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方にお尋ねします。

問6 あなたは、認知症についてどのようなことを知りたいと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 種類や症状
- 2 認知症の初期症状やMCI（軽度認知障害）の症状
- 3 病院を受診するタイミング
- 4 認知症やMCI（軽度認知障害）の予防方法
- 5 検査や治療、薬など
- 6 相談できる場所
- 7 認知症を診てもらえる病院
- 8 医療・介護などの制度やサービス、施設など
- 9 家庭での介護の方法
- 10 認知症の人との関わり方（職場や地域で見かけたときの対応など）
- 11 認知症の人が感じている思いや希望
- 12 自分の意思を伝えることが難しくなったときへの備え
- 13 認知症について学ぶことのできる講座やイベント
- 14 若年性認知症について
- 15 その他（)

問7 認知症に関する相談先について、あなたが思いつくものはありますか。

(○はいくつでも)

- 1 病院・診療所
- 2 認知症サポート医^{※3}
- 3 認知症疾患医療センター^{※4}
- 4 地域包括支援センター^{※5}
- 5 静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町^{※6}」
- 6 市（各区の高齢介護課や保健福祉センター）
- 7 認知症家族の会^{※7}や認知症カフェ^{※8}のような交流の場
- 8 民生委員^{※9}や自治会長など地域の支援者
- 9 思いつくものはない
- 10 その他（)

※印の用語説明は、最終ページにあります。

問8 あなたは、認知症の人の生活について、どのようなイメージを持っていますか。

(最もイメージに近いもの1つに○)

- | |
|---|
| 1 自分や家族で工夫しながら、今までどおり生活している |
| 2 医療・介護などのサービスや家族の助けを受けながら生活している |
| 3 身の回りのことができなくなるので、介護施設で生活している |
| 4 暴言・暴力や徘徊などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今までどおり生活できない |
| 5 わからない |

問9 もし、あなたが自分のことを「認知症かもしれない」と思ったら、どうしますか。

(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 本やインターネットで認知症について調べる |
| 2 家族や親戚に相談する |
| 3 友人に相談する |
| 4 知人や近所の人に相談する |
| 5 地域包括支援センターに相談する |
| 6 静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」に相談する |
| 7 市（各区の高齢介護課や保健福祉センター）に相談する |
| 8 認知症家族の会や認知症カフェのような交流の場で相談する |
| 9 民生委員や自治会長などの地域の支援者に相談する |
| 10 病院・診療所（かかりつけ医など）を受診する |
| 11 認知症専門の病院（認知症疾患医療センターや認知症サポート医のいる病院など）を受診する |
| 12 誰にも言わず黙っておく |
| 13 特に何もしない |
| 14 わからない |
| 15 その他（) |

問10 もし、あなたが認知症になったら、誰に伝えようと思いますか。

(○はいくつでも)

- | |
|-------------|
| 1 家族 |
| 2 親戚 |
| 3 友人 |
| 4 知人や近所の人 |
| 5 職場の人 |
| 6 誰にも伝えたくない |
| 7 わからない |
| 8 その他（) |

問11 もし、あなたや家族が認知症になったら、あなたはどのようなことに心配や不安を感じると思いますか。

自分と家族のそれぞれの場合について、あてはまるものを選択してください。

(それぞれ〇は5つまで)

あなたが認知症になった場合の心配事	家族が認知症になった場合の あなたの心配事
1 大切な人のことを忘れてしまう	1 自分（あなた）や大切な人のことが、忘れられてしまう
2 料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなる	2 料理や車の運転など、これまで出来ていたことが出来なくなり、手助けしなければならない
3 道がわからなくなったり、迷子になったりする	3 迷子になり、搜索しなければならない
4 詐欺などの被害に遭う	4 詐欺などの被害に遭う
5 趣味などの生きがいとなる活動が継続できなくなる	5 趣味などの活動が継続できなくなり、認知症になった家族の生きがい失われる
6 仕事が継続できなくなる	6 認知症になった家族が仕事を継続できなくなる
7 家族に身体的・精神的負担をかける	7 自分（あなた）に、身体的・精神的負担がかかる
8 自分（あなた）の介護のために、家族が仕事を継続できなくなる	8 介護により、自分（あなた）の仕事が継続できなくなる
9 自分（あなた）の介護のために、家族が趣味を継続できなくなる	9 介護により、自分（あなた）の趣味が継続できなくなる
10 自分の意思が尊重されなくなる	10 認知症になった家族の意思を、尊重してあげられない
11 家族から怒られたり、責められたりする	11 認知症になった家族に対して、怒ったり責めたりしてしまう
12 家族以外の周りの人に迷惑をかける	12 家族以外の周りの人に迷惑をかける
13 周りの人から差別や偏見の目を向けられる	13 周りの人から差別や偏見の目を向けられる
14 経済的負担が大きくなる	14 経済的負担が大きくなる
15 医療・介護などのサービスが十分に受けられない	15 医療・介護などのサービスが十分に受けられない
16 相談できる人、頼れる人がいない	16 相談できる人、頼れる人がいない
17 特に不安はない	17 特に不安はない
18 わからない	18 わからない
19 その他（ ）	19 その他（ ）

問12 今後、認知症施策を進めるうえで、充実してほしいことは何ですか。

(〇は5つまで)

- | |
|--|
| 1 相談体制 |
| 2 普及啓発イベント |
| 3 知識を学ぶ講座（認知症サポーター養成講座 ^{※10} など） |
| 4 地域での見守りやサポート（認知症しずメール ^{※11} 、チームオレンジ ^{※12} など） |
| 5 認知症の人やその家族の交流の場 |
| 6 診察できる医療機関 |
| 7 早期発見・早期対応の体制（静岡市もの忘れ検診 ^{※13} など） |
| 8 予防のための取組（MCI 予防プログラム ^{※14} など） |
| 9 専門職を対象とした研修などの人材育成 |
| 10 介護施設やサービスの整備 |
| 11 若年性認知症の人やその家族のための施策 |
| 12 特にない |
| 13 わからない |
| 14 その他（) |

※印の用語説明は、最終ページにあります。

問13 現在、認知症の人は、周りの人と支え合いながら、地域で安心して暮らすことができていると思いますか。

(〇は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 思う |
| 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない |
| 4 全く思わない |
| 5 わからない |

問14 現在、認知症の人は、本人の意思が尊重され、本人の望む生活を送ることができていると思いますか。

(〇は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 思う |
| 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない |
| 4 全く思わない |
| 5 わからない |

問15 認知症についてのあなたの思いや、認知症に関する静岡市の取組へのご意見などがあれば、ご記入ください。

(自由記述)

最後に、ご自身のことについてお聞かせください。

F1 あなたの年代を教えてください。(〇は1つ)

1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代以上

F2 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1 男性 2 女性 3 その他 4 答えない

F3 あなたのお住まいの地域を教えてください。(〇は1つ)

1 葵区 2 駿河区 3 清水区

F4 あなたの世帯構成を教えてください。(〇は1つ)

1 単身世帯(1人暮らし) 2 夫婦
3 2世代(親子など) 4 3世代(親・子・孫など)
5 その他()

～調査へのご協力、ありがとうございました。～
調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、
11月28日(金)までにご投函ください。

調査票中の用語説明

問4

※1 MCI（軽度認知障害）

日常生活に支障がない程度に、記憶力や判断力が低下した状態。生活習慣の見直しなどにより、正常な状態へ回復する可能性がある。

※2 アルツハイマー型認知症

もの忘れから始まり、徐々に判断力・理解力が低下する、認知症の一種。認知症の中で最も多く見られる。

問7

※3 認知症サポート医

認知症の人とその家族が、地域で安心して医療・介護を受けられるよう支援する、認知症に関する専門的知識を持った医師。

※4 認知症疾患医療センター

認知症の専門的な診断・治療・相談を行う専門医療機関。

※5 地域包括支援センター

高齢者が、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように設置された、地域の相談窓口。介護・医療・福祉・健康など様々な面から総合的な支援を行う。

※6 かけこまち七間町

認知症の本人やその家族の相談支援や、認知症予防や理解促進のためのイベントや講座を行う、静岡市独自の認知症に特化した施設。

※7 認知症家族の会

認知症について悩みや葛藤を抱えた家族が集まる交流の場。

※8 認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民、医療・介護の専門職などが気軽に集まり、お茶を飲みながら、交流や相談、情報交換ができる憩いの場。

※9 民生委員

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う。

問12

※10 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識や適切な対応を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」を養成する講座。

※11 認知症しずメール

認知症の人が徘徊で行方不明になったときに、早く安全に保護できるよう、見守り協力者（メール登録いただいた市民の皆様）に行方不明者の情報をメール送信し、捜索協力をあおぐ取組。

※12 チームオレンジ

認知症の本人と共に、地域活動を行うチーム。近隣の認知症サポーターや専門職がチームを組み、本人の悩みや家族のニーズと支援をつなぐ。

※13 静岡市もの忘れ検診

65歳以上の高齢者を対象とした、認知機能の低下がないかどうかを調べる検診。早期発見・早期対応を目的としており、問診や認知機能検査を実施する。

※14 MCI 予防プログラム（静岡型認知症・MCI 予防プログラム）

MCI（軽度認知障害）や認知症の予防につながる、運動・脳トレーニング体操・レクリエーションを組み合わせた静岡市独自のプログラム。

令和7年度 認知症に関する意識等調査
令和8年3月

静岡市 保健福祉長寿局
地域支え合い推進部 地域包括ケア推進課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-221-1623 / FAX 054-221-1577